

働こう障害者も働くんだオレたちも
がまわって下さった商店会等
も、店の商品ということにこ
だわらず、ご家庭に眠つてい
る死蔵品ということでお願い

恒例のチャリティーバザー
が10月12日(日)、秋晴
れのもと二荒山神社で開催さ
れました。昨年同様、露店商
の方との調整から始めなけれ
ばならず、苦労しましたが、
何とか場所を確保して品物を
広げる事が出来ました。

今年はこぶしのチャリティー
バザー20年目の節目であり
ますし、先に開かれた実行委
員会においても百万円以上売
上達成を目標にすることを確
認しあい、準備を進めてきま
した。

毎年このバザーのために、
日頃から心がけて下さる多く
の後援者をはじめ、各組合の
皆様。谷後援会長の地元、和
尚塚商店会の皆様等、多くの
ご協力を得ました。保護者会

がまわって下さった商店会等
も、店の商品ということにこ
だわらず、ご家庭に眠つてい
る死蔵品ということでお願い

ましたが、ほんとうに一回一回
積み上げてここまでやってこ
られたのも、これまで、すつ
としたところ、賛同をいただき
ました。この場を借りてお礼
を申し上げます。

品物に、保護者、ボランティ
アの皆様の手によって一つ一
つ値付けがされ、バザー当日
を迎える事ができました。

今年は、中央医療福祉専門
学校の六名の学生の実習の時
期と重なり、学生のみなさん
に手伝っていただくことがで
き、大いにたすかりました。

また当日の販売のボランティ
アも多数かけつけて下さり、
嬉しい悲鳴をあげました。

お陰様で、第二十回目のチャ
リティーバザーは、総売上百
十九万八千五百二十三円とい
う、好成績を得る事ができま
した。

また、一口に二十回とい
ますが、ほんとうに一回一回
積み上げてここまでやってこ
られたのも、これまで、すつ

ががつた申請の60%にすぎ
なかつた今回の設備整備をめ
ぐる出来事は、今回の障害者
施策の動向を象徴する大事件

でした。この場を借りてお礼
を申し上げます。

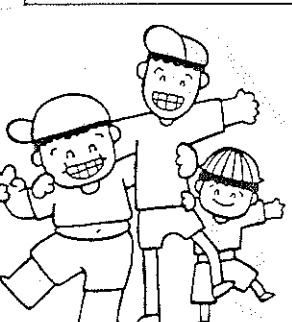
今後とも、よろしくお願ひ

申上げます。

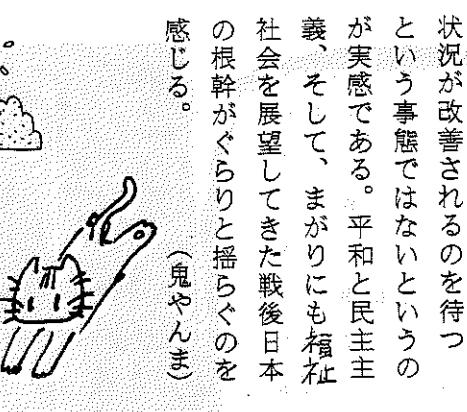
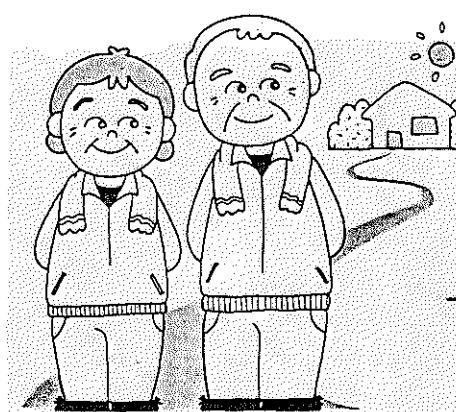
(川島)

赤字国債の発行を無くする
ために、今後3年間は緊縮財
政をすすめていく。社会保障、
社会福祉も聖域ではないとし
て、「財政再建計画」を発表
した。今回の施設整備費の削
減、グループホーム予算の半
年遅れの執行、小規模作業所
の補助単価切り下げの動きな
ど、ノーマライゼーションブ
ラン逆行する一連の動きは
高度成長のつけを障害者にも
押しつけてくる政府の姿勢を
表したものだった。来年度の
厚生省関係の概算要求も軒並
みマイナス7%となっている。
けやき作業所整備費交付の
条件に「多くの障害者が建設
を待ち待機している。」とい
う理由は取り上げて貰えなか
った。「どの地域でもそうだ。」
というのである。けやきの協
議をすすめる中で、芳賀地域
には240人を超える(療育
手帳所持者のみ)在宅障害者
(医療・教育・福祉機関、一
般就労と関わりがない)の存

1997 秋 チャリティーバザール



みんなで大団



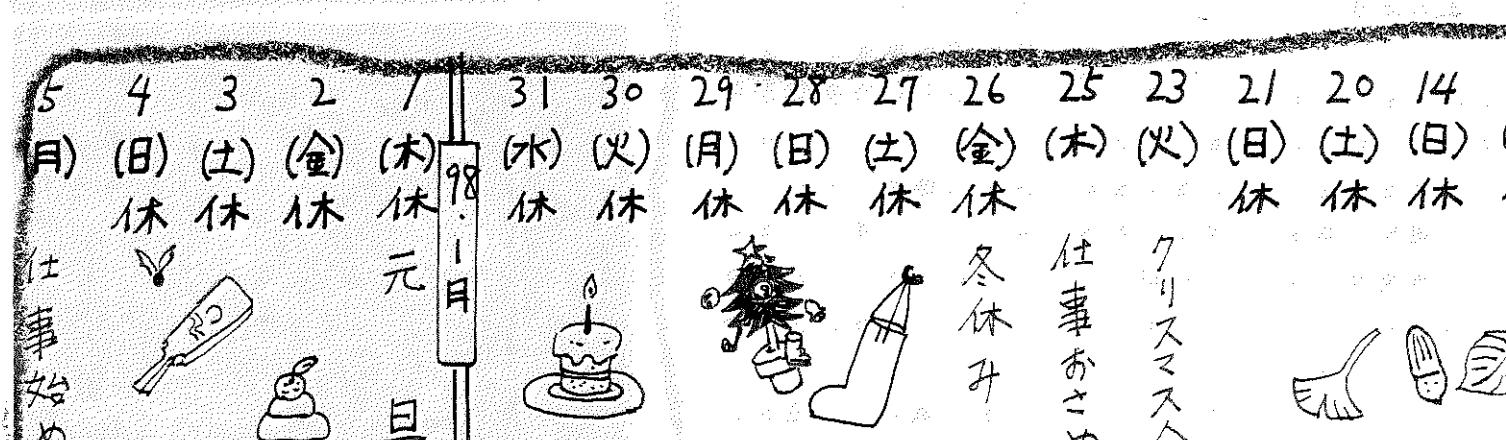
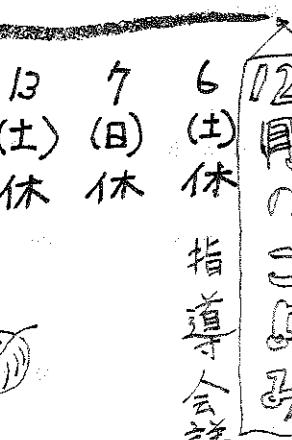
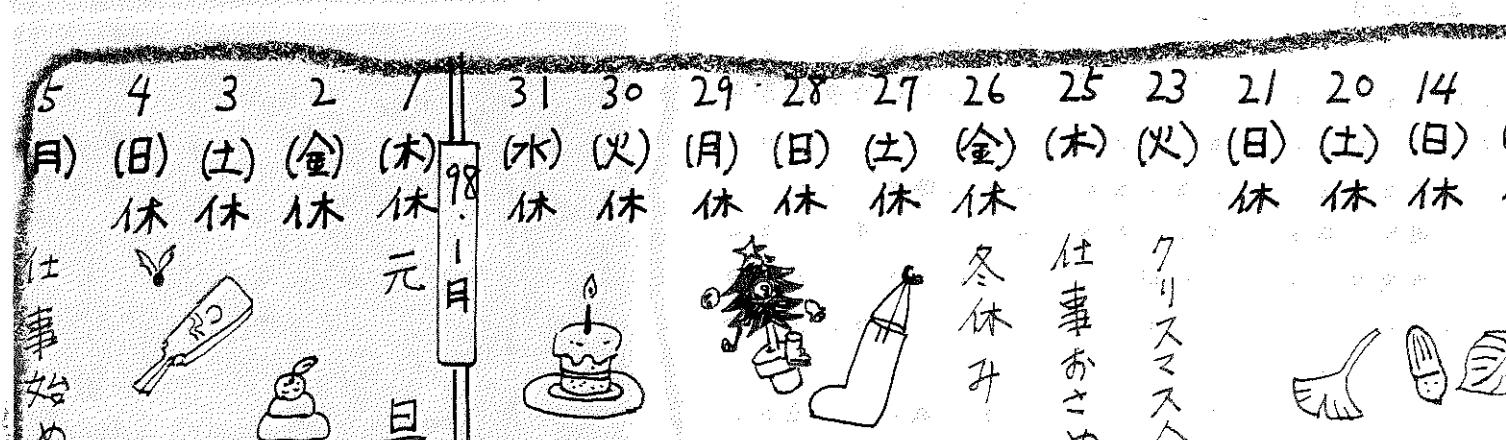
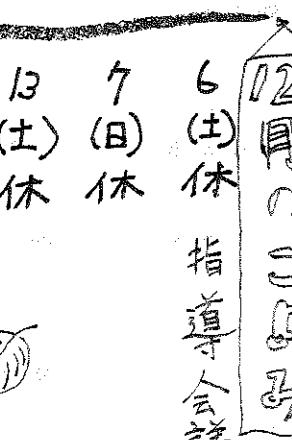
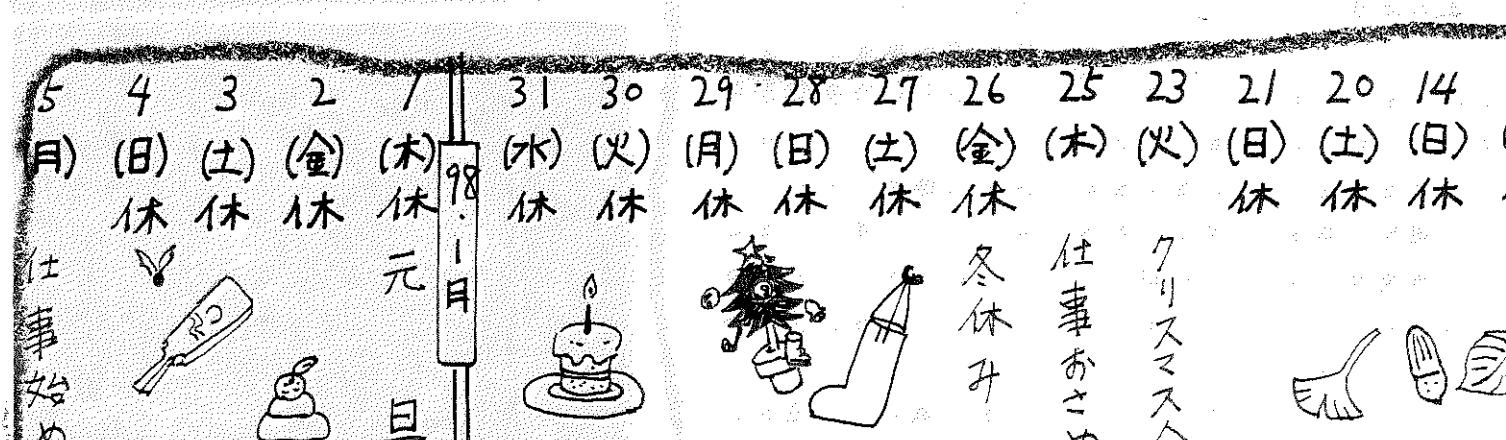
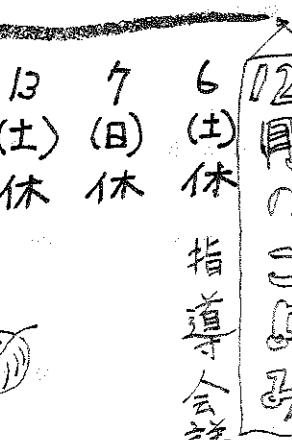
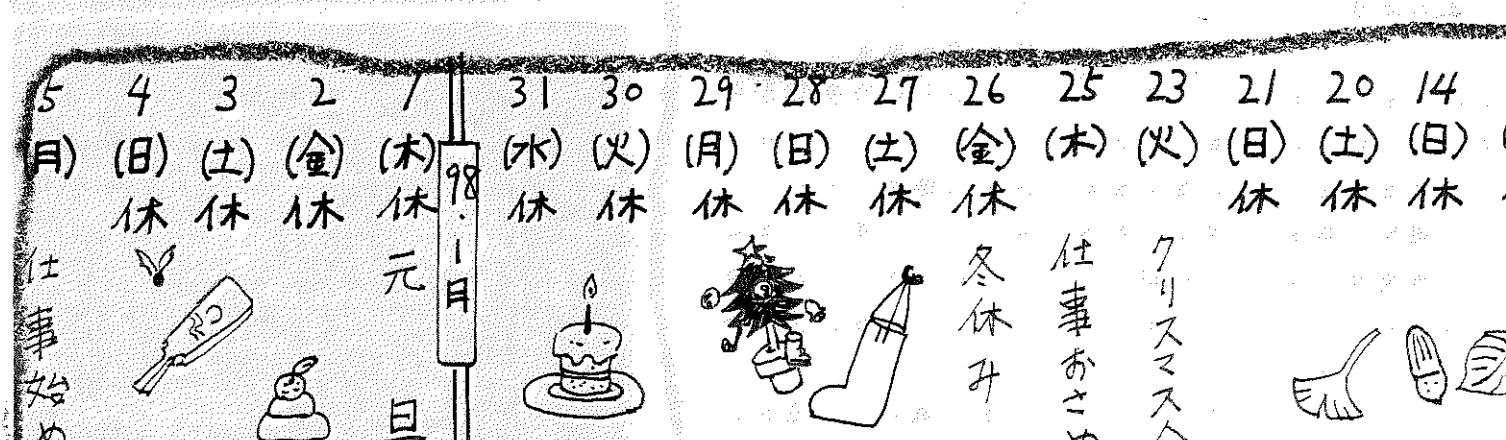
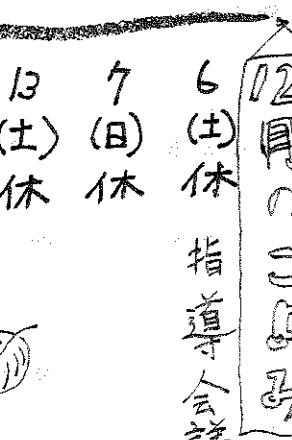
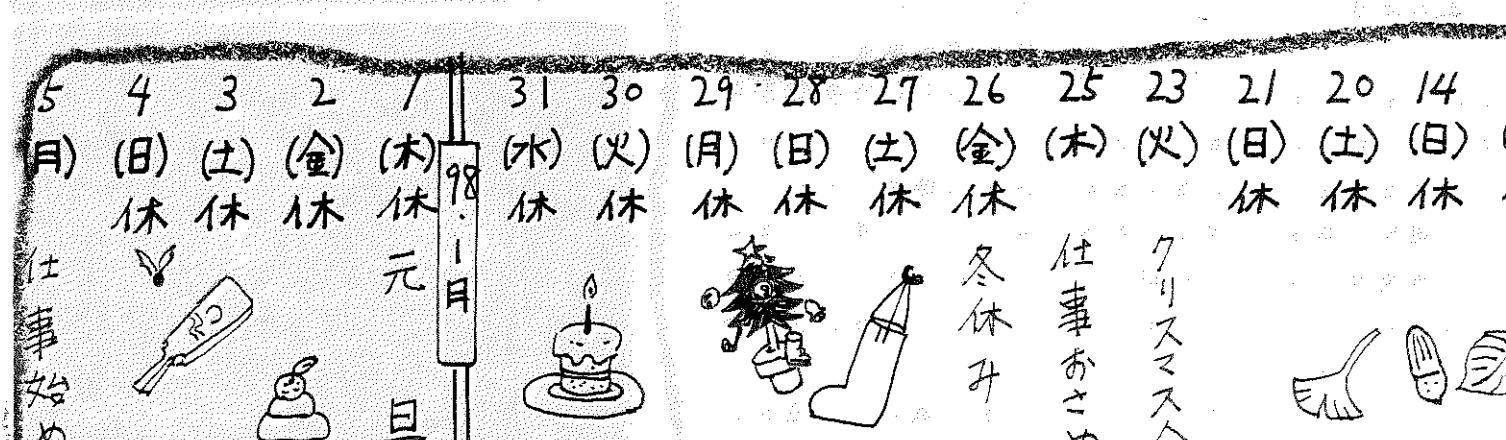
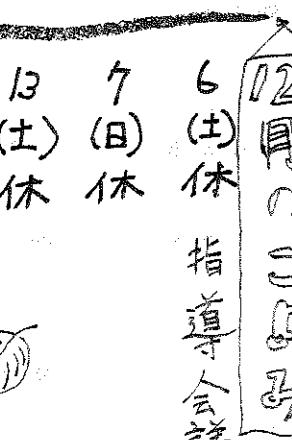
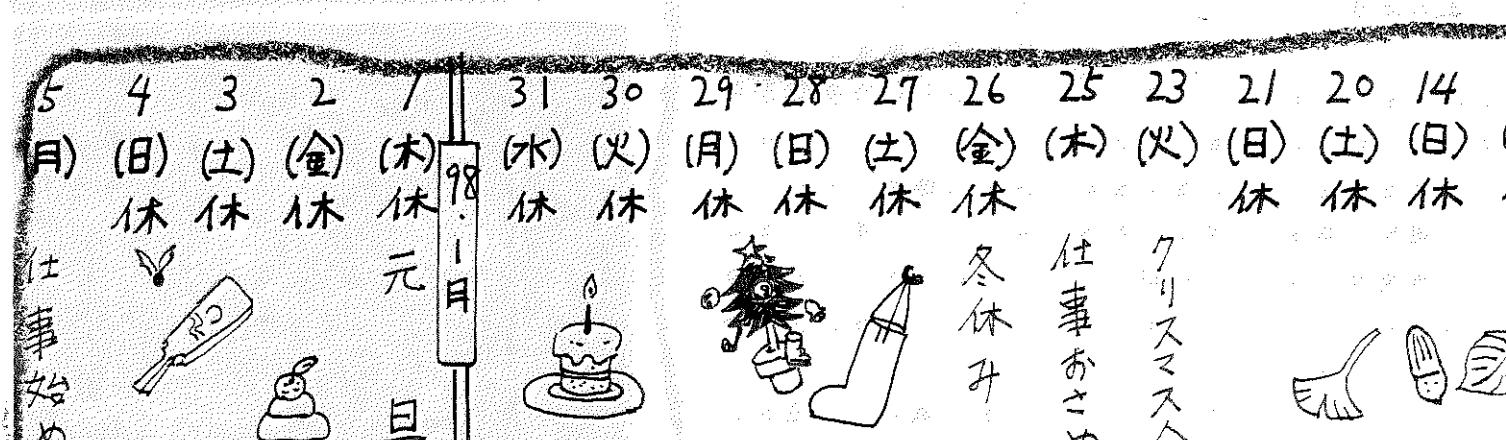
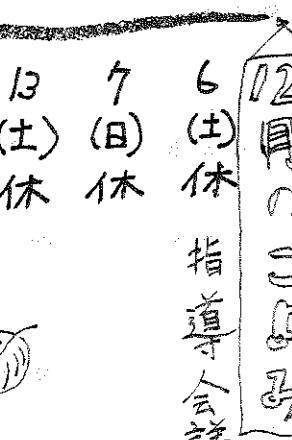
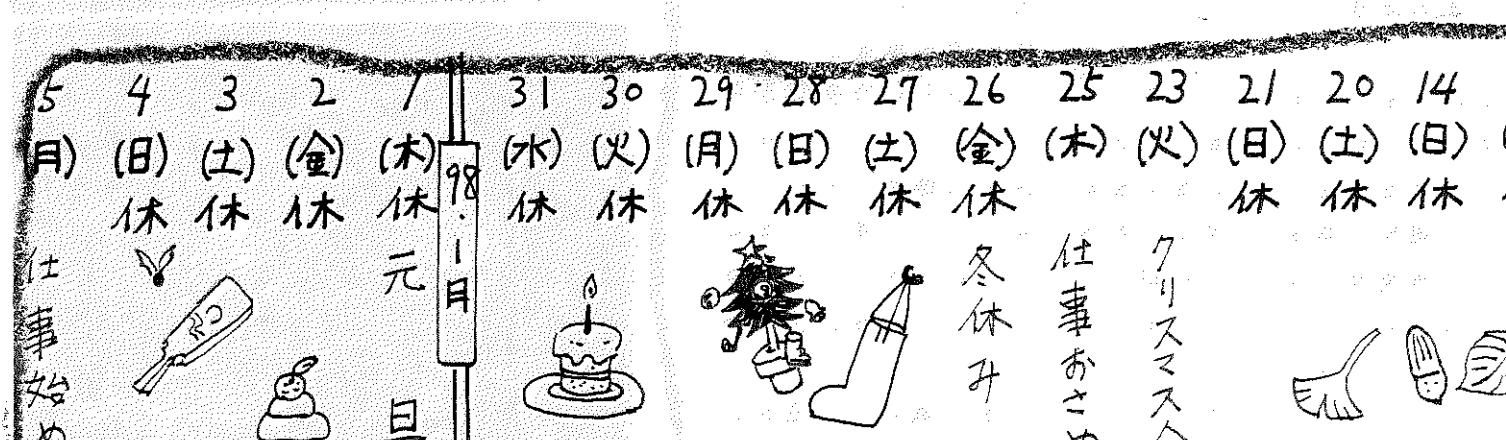
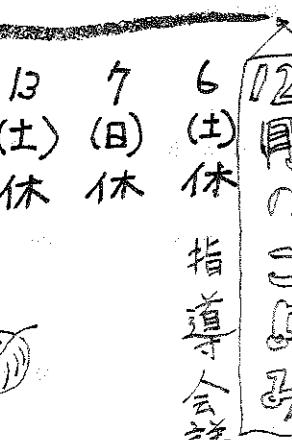
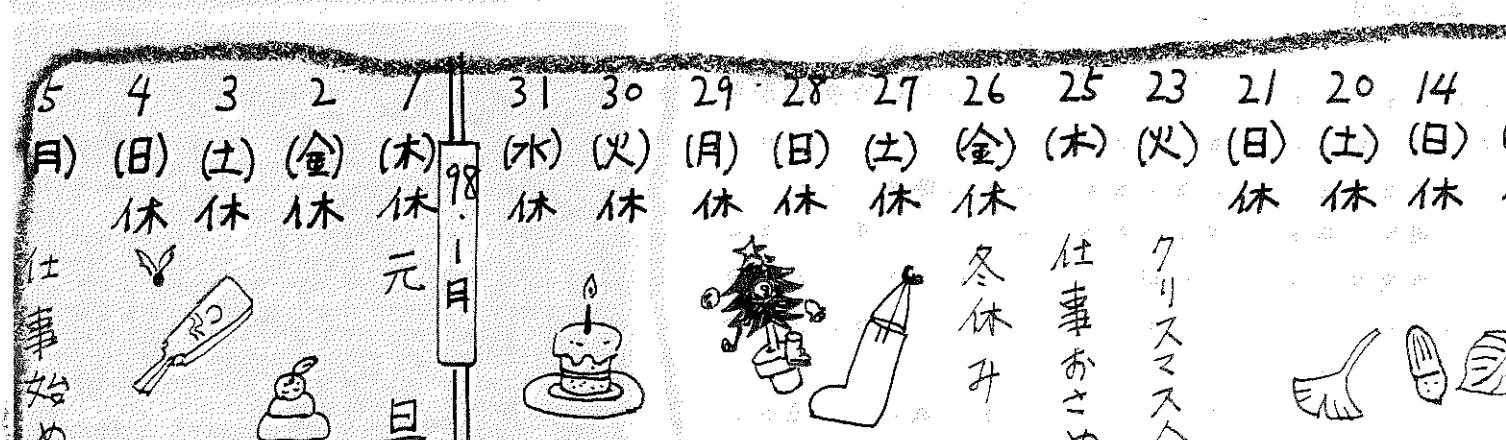
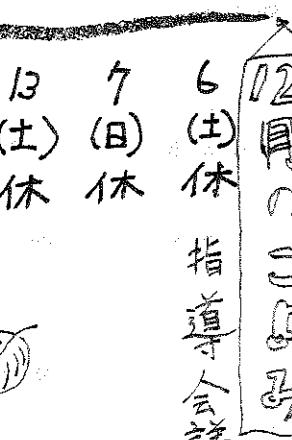
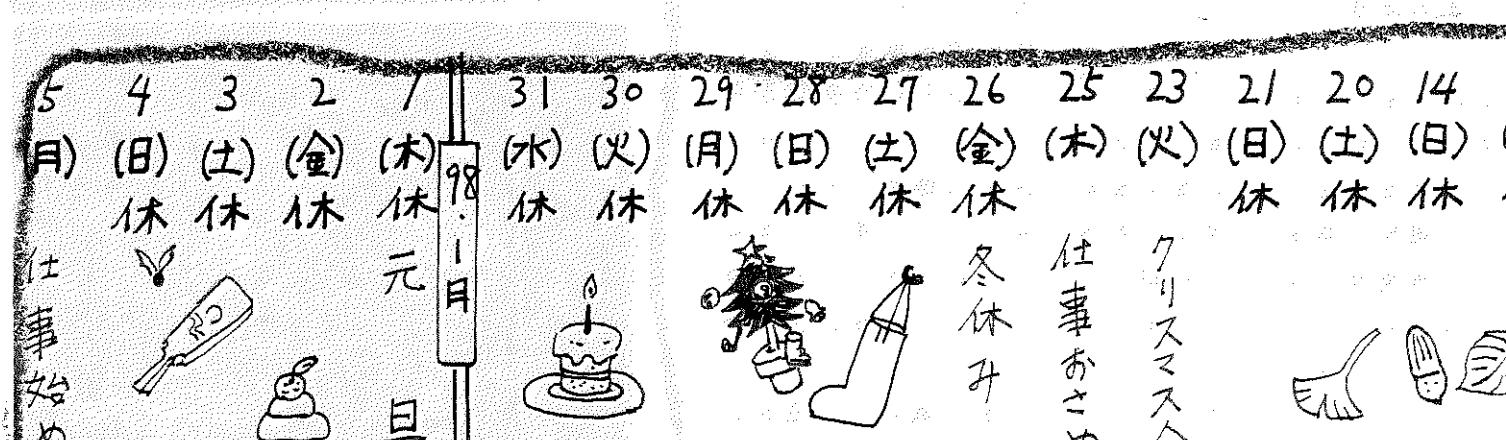
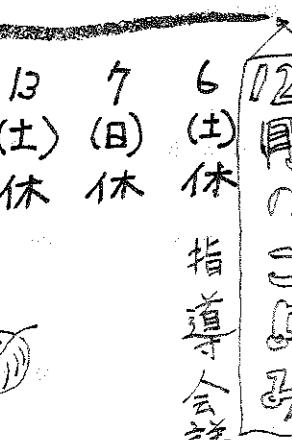
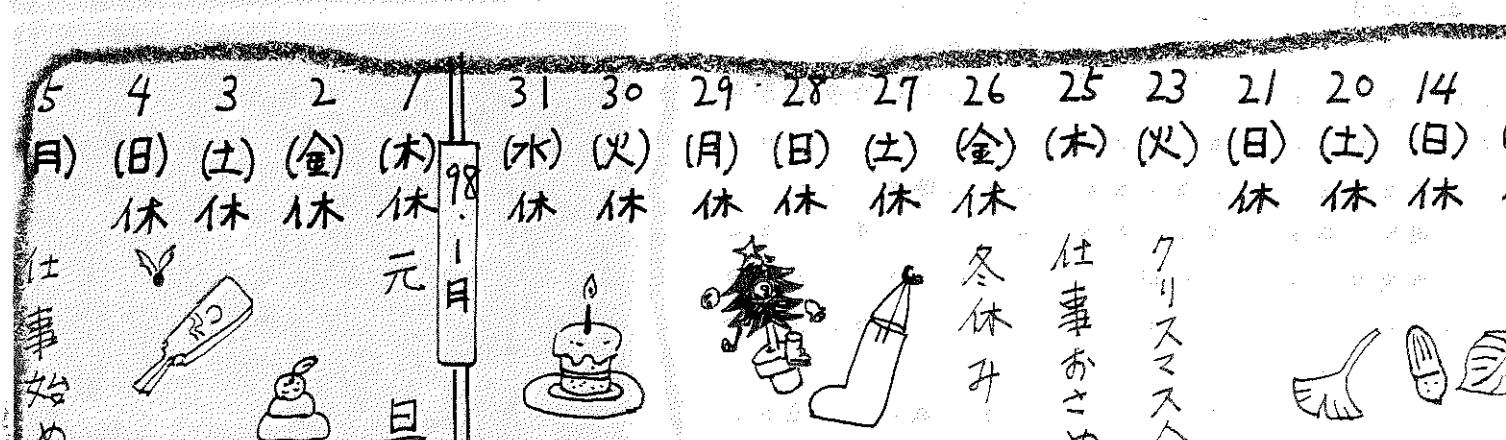
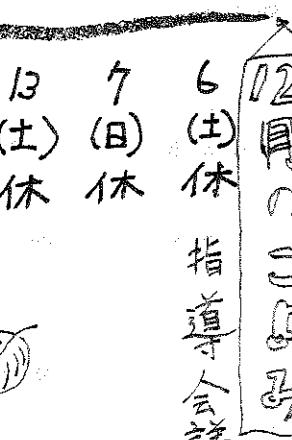
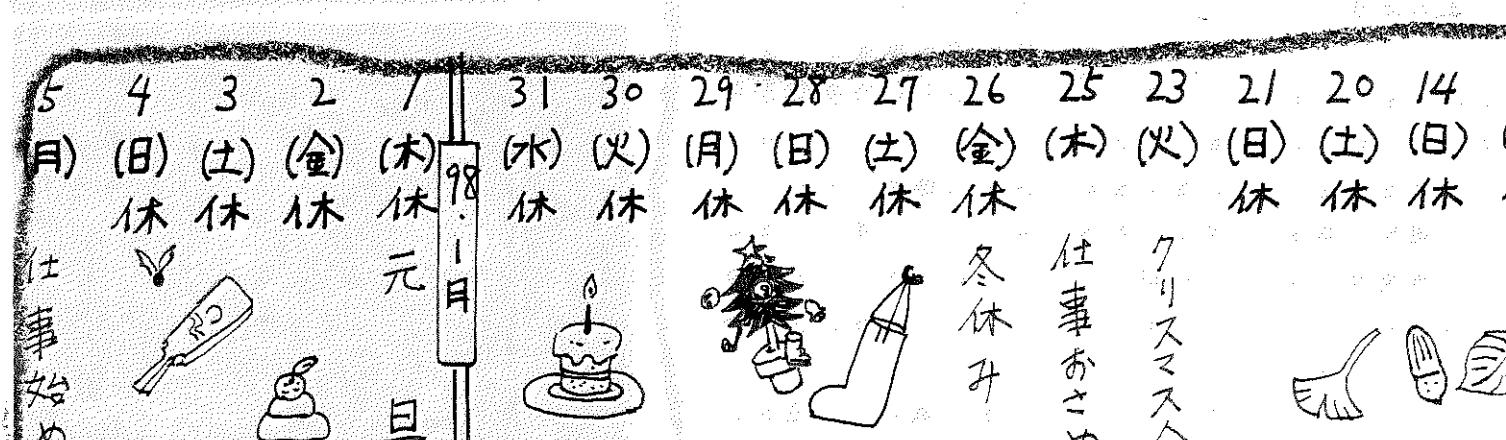
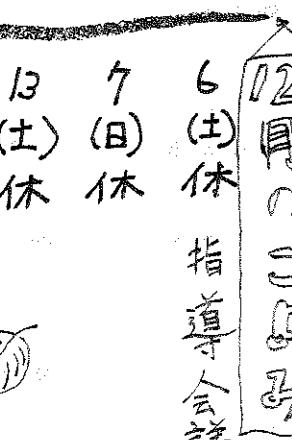
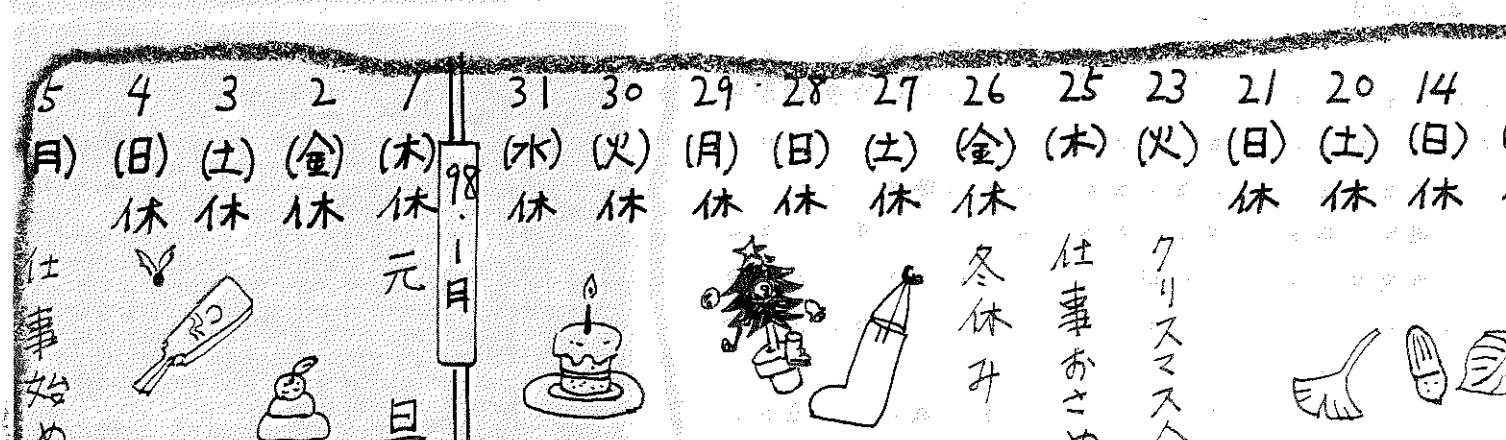
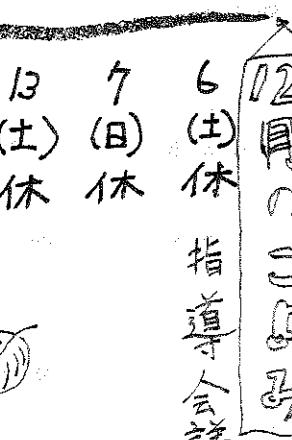
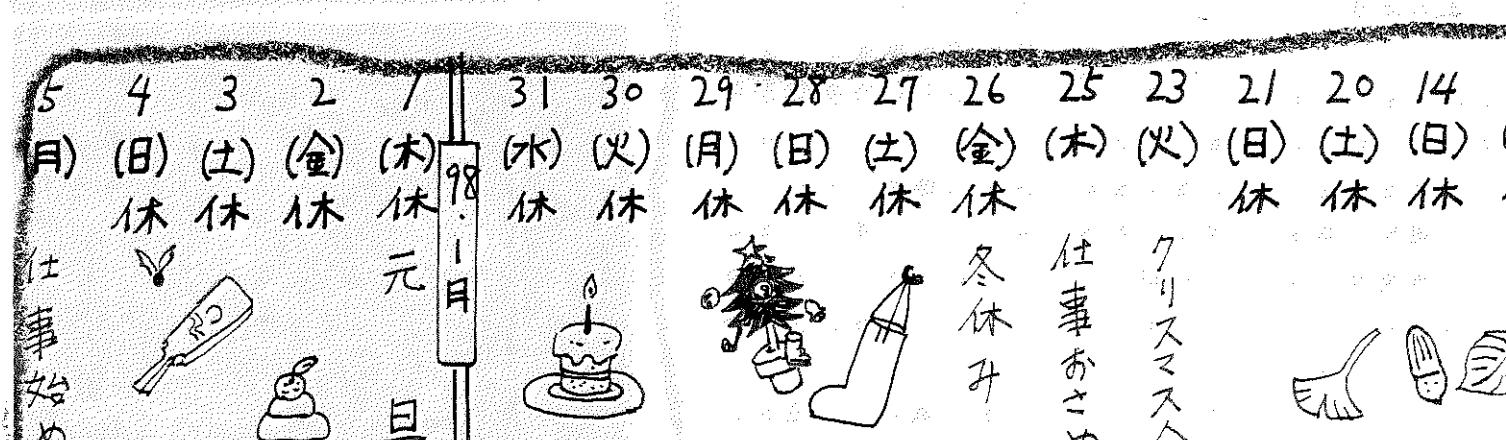
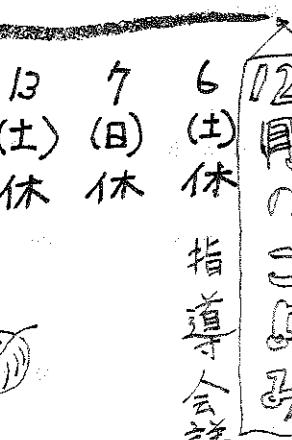
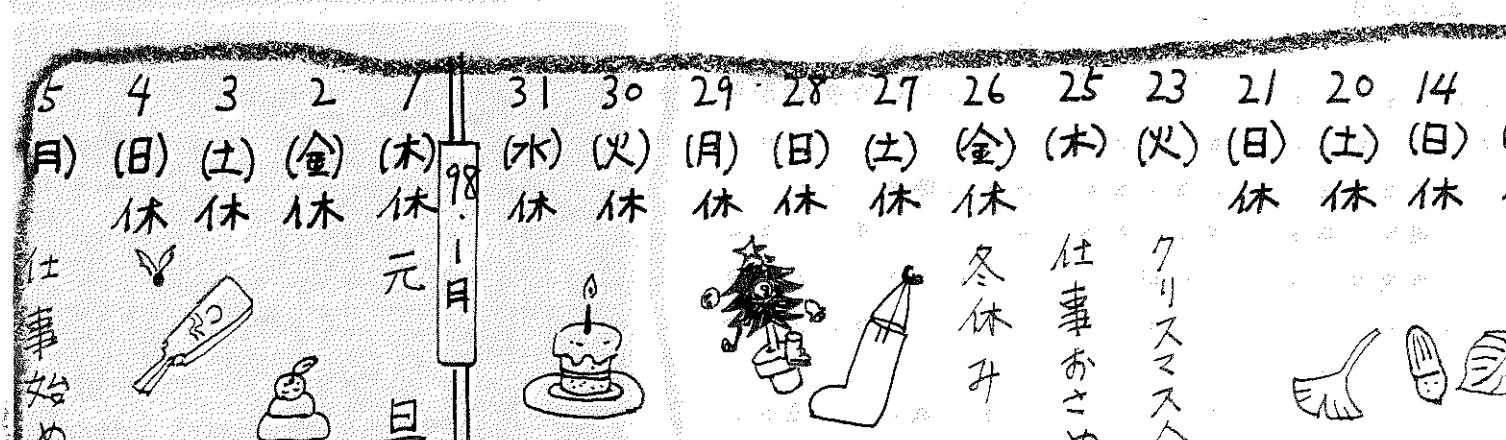
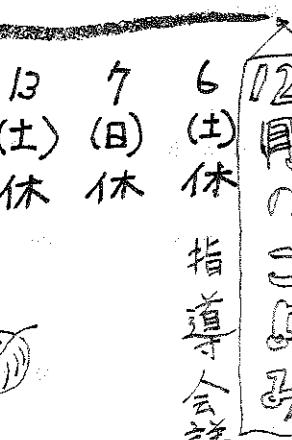
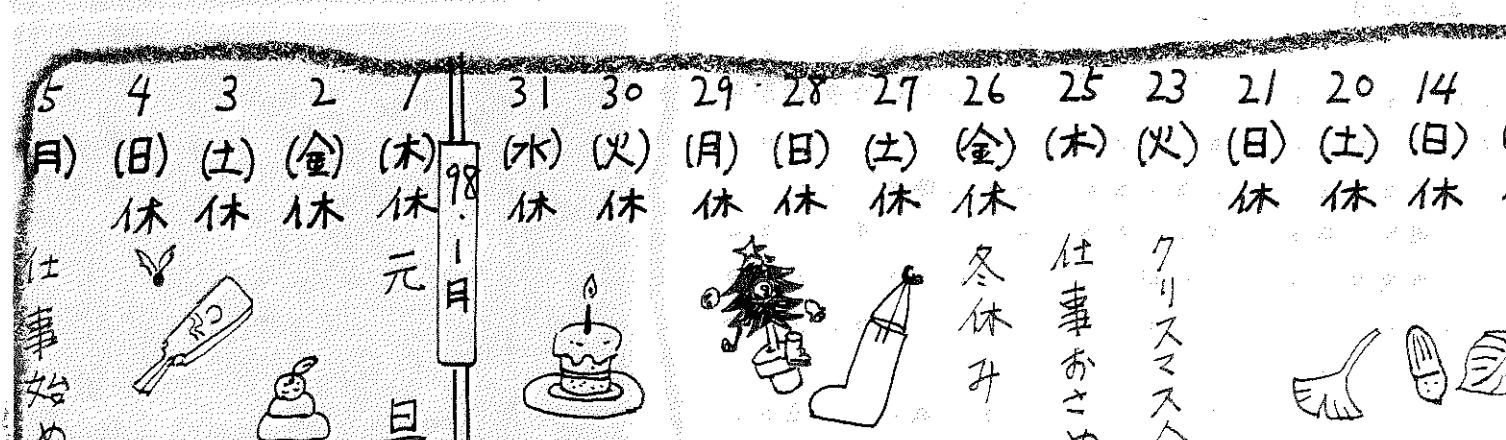
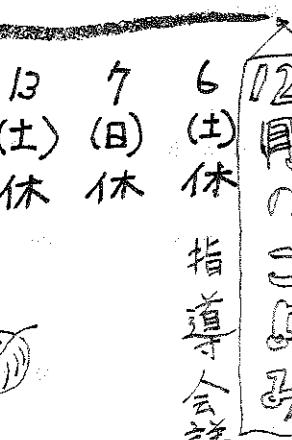
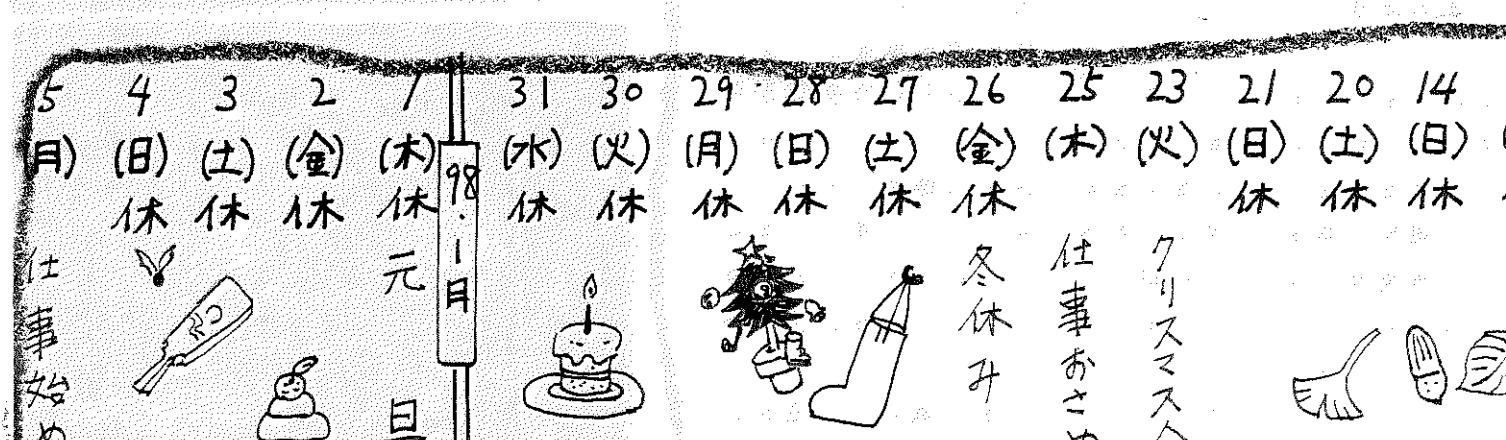
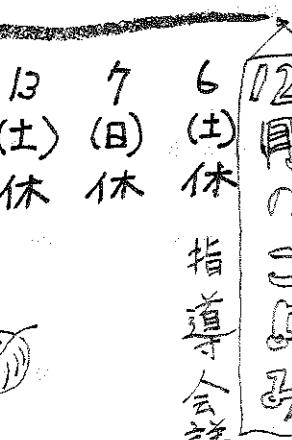
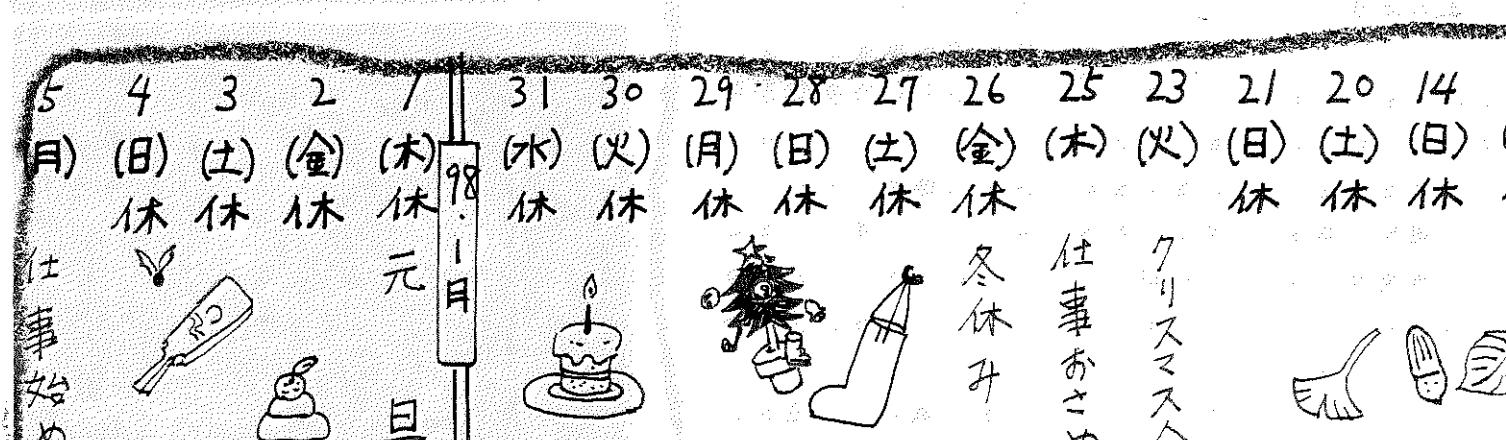
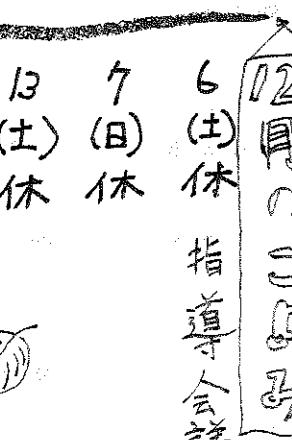
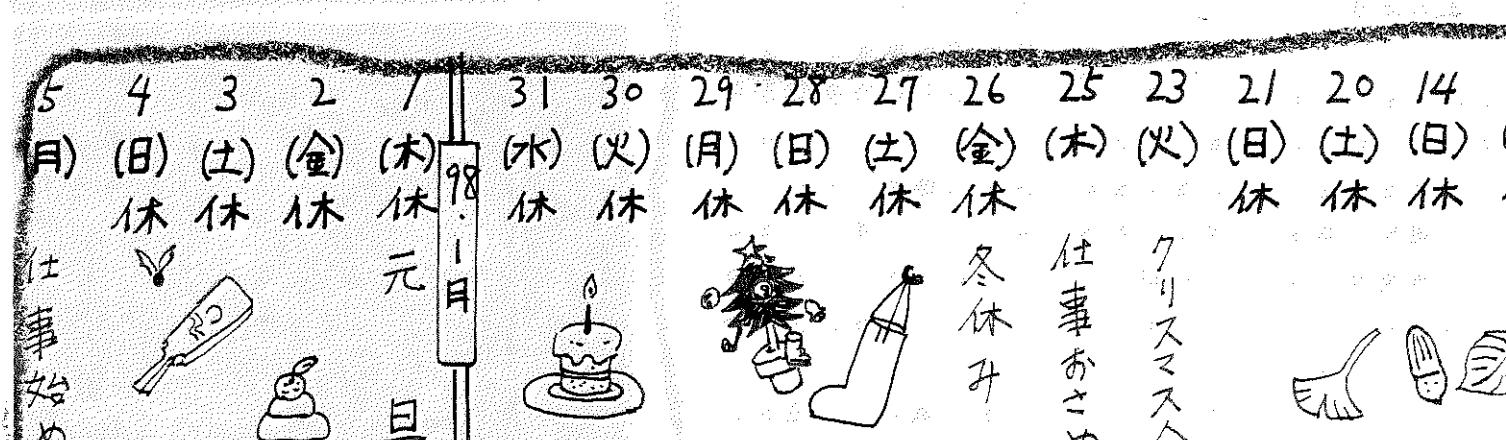
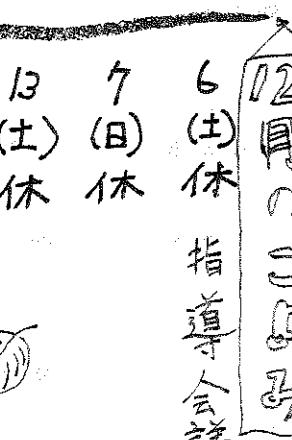
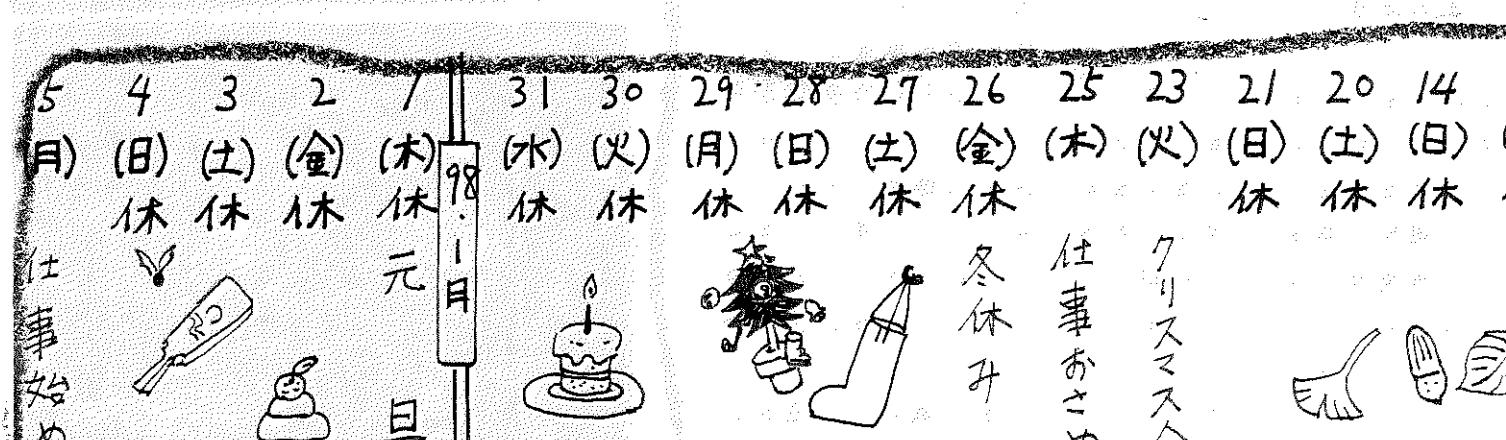
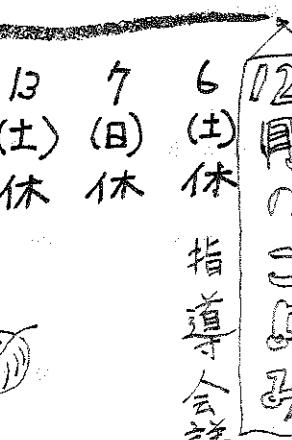
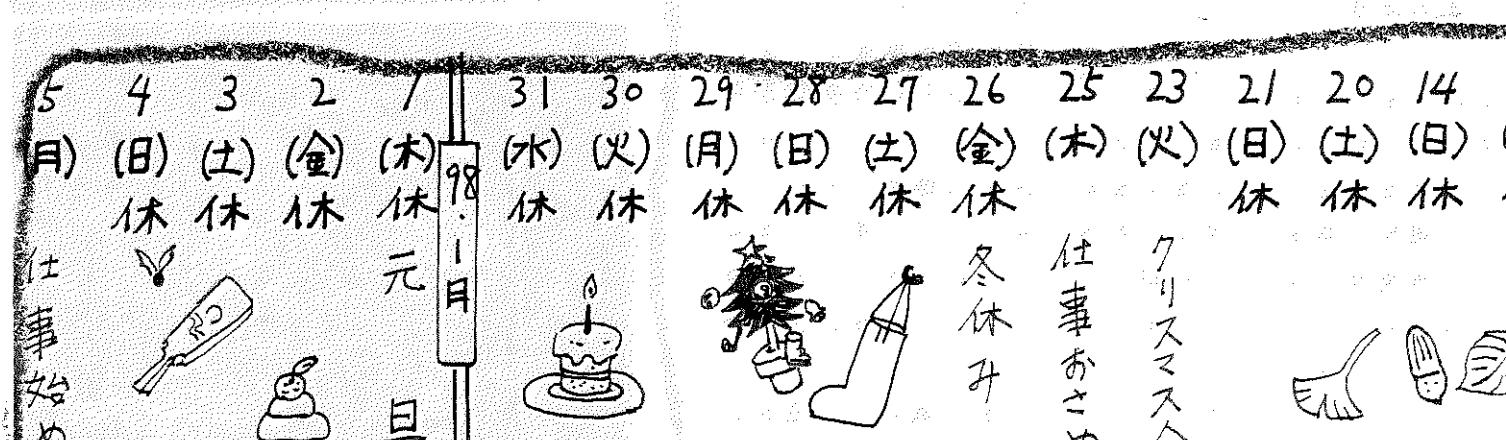
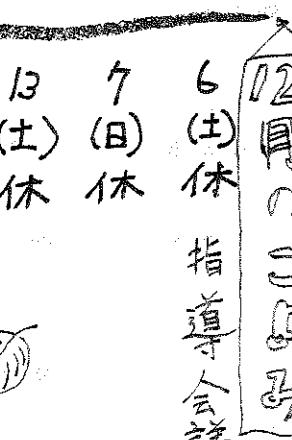
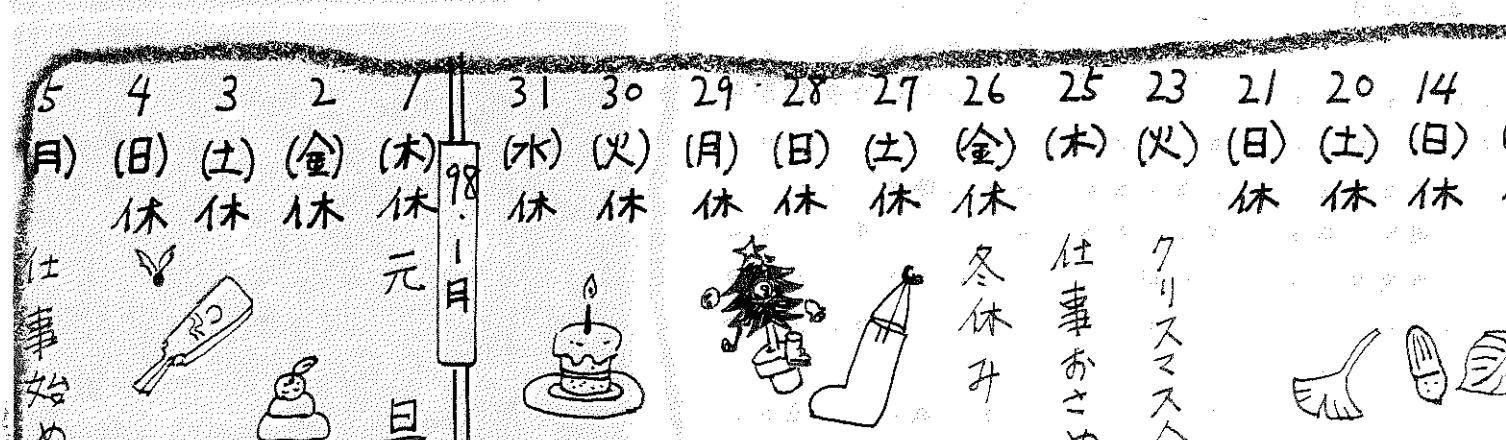
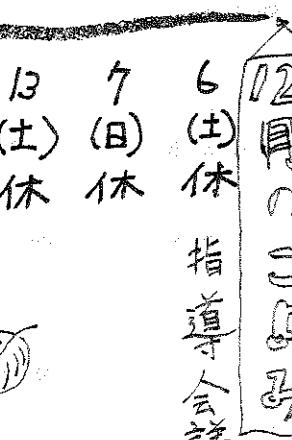
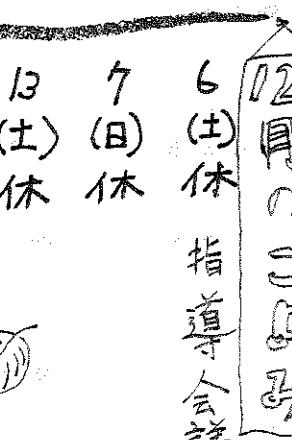
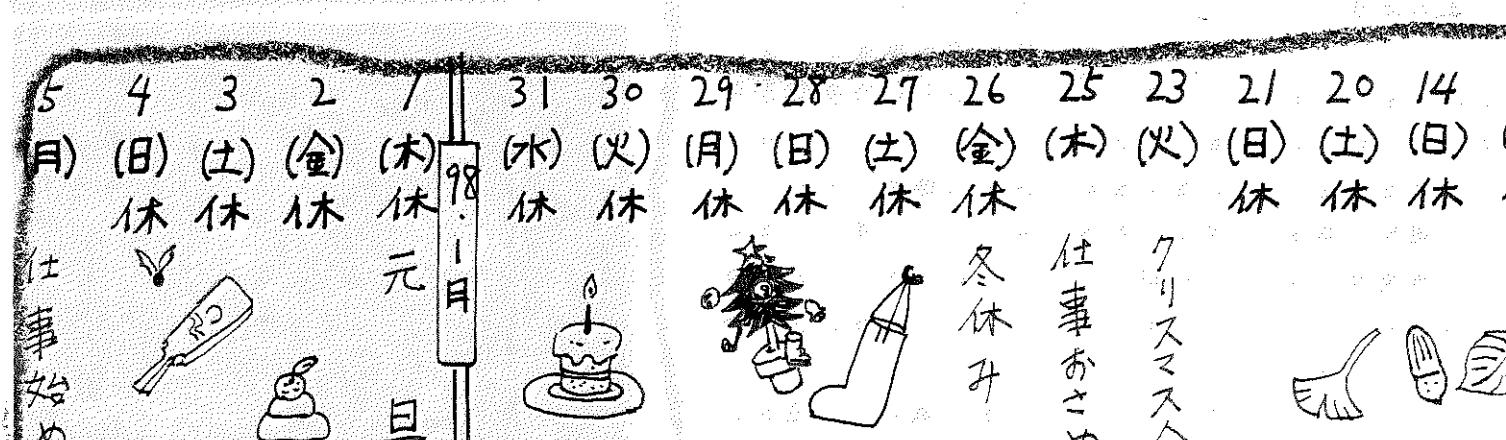
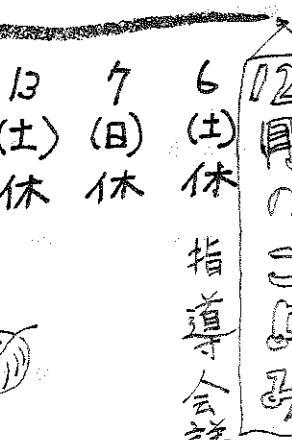
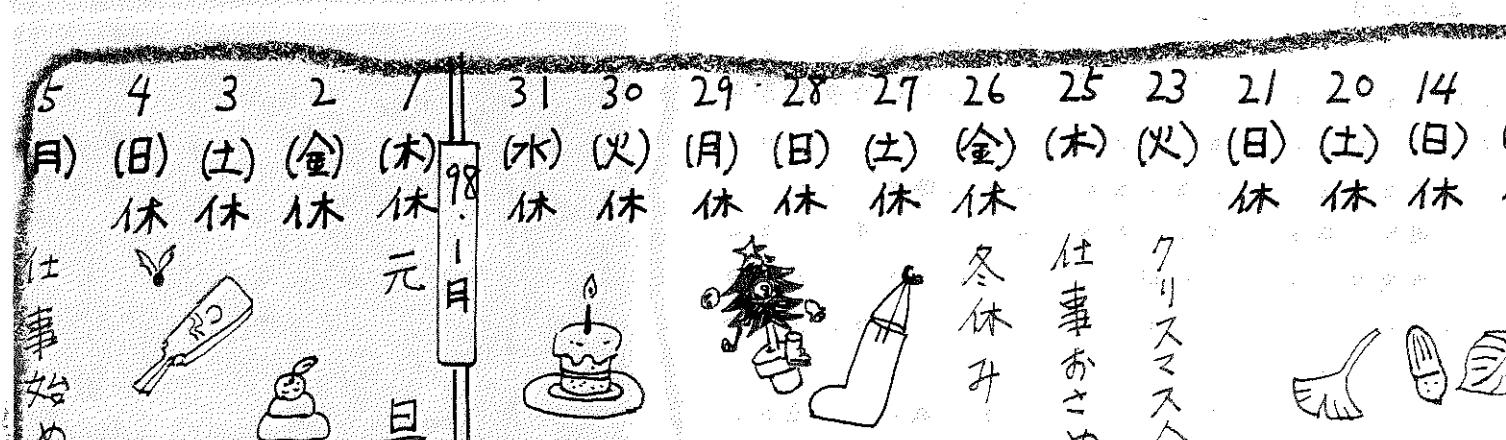
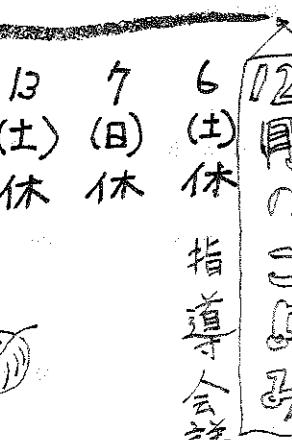
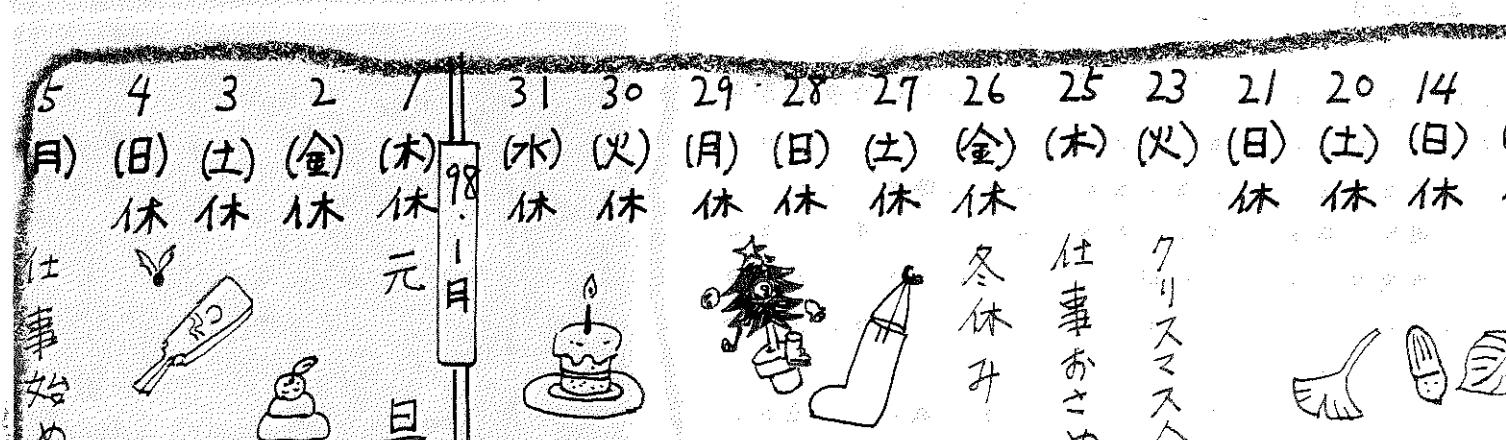
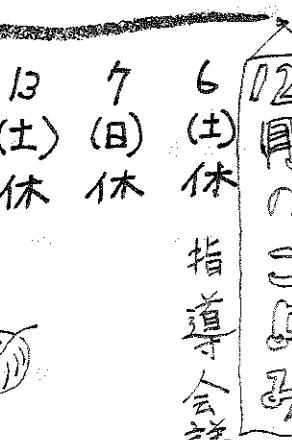
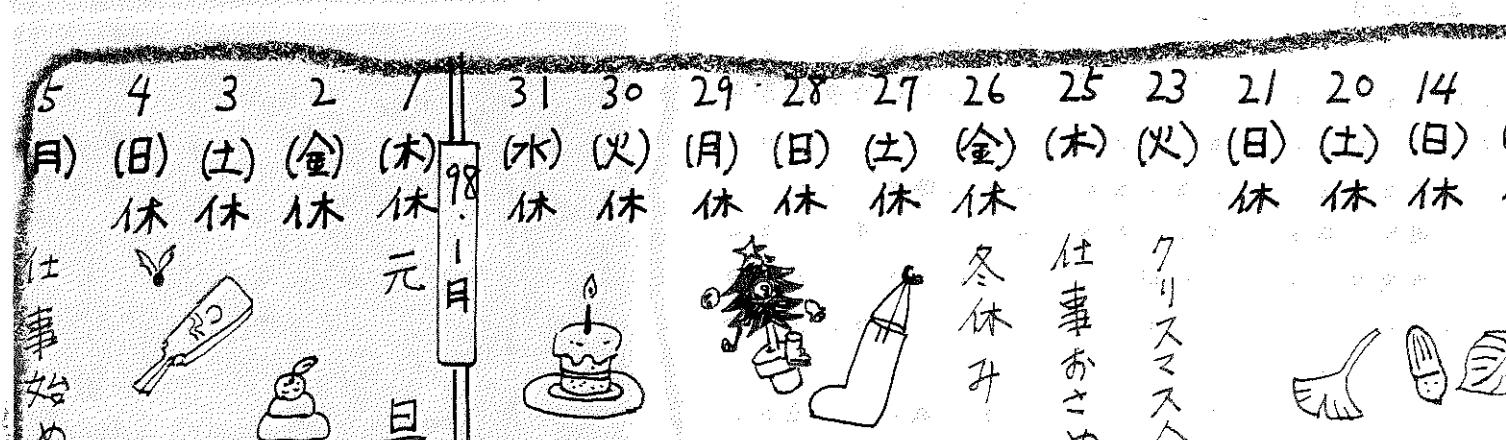
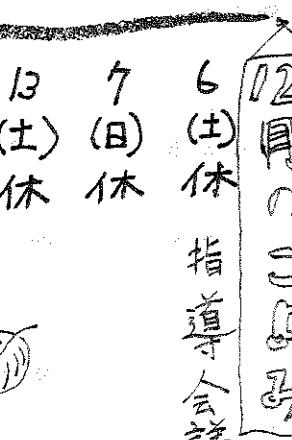
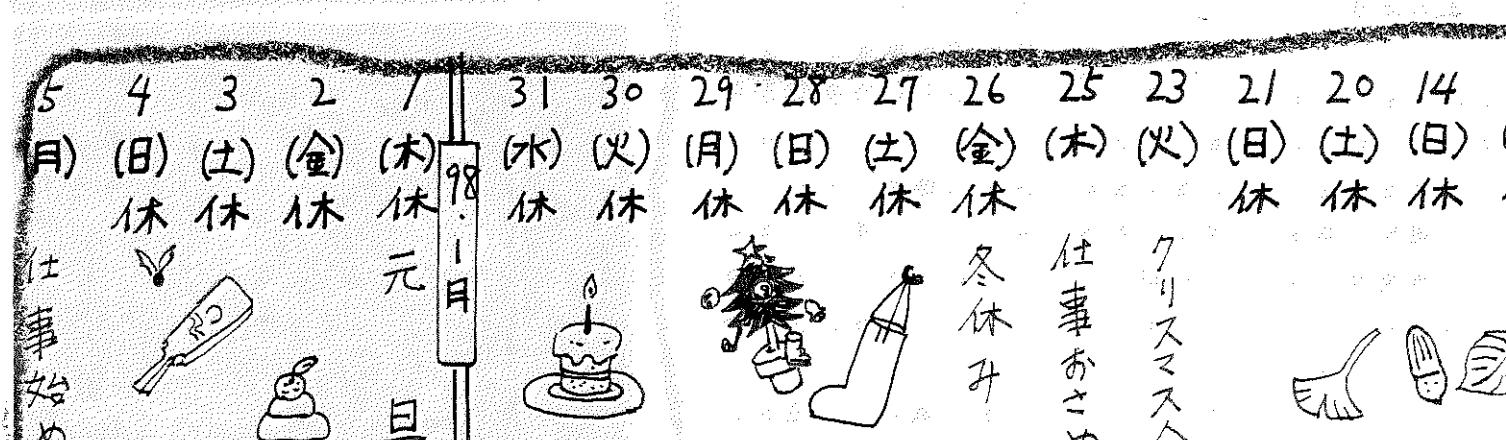
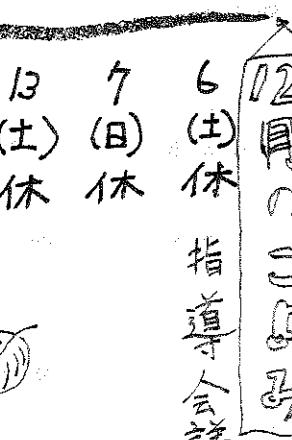
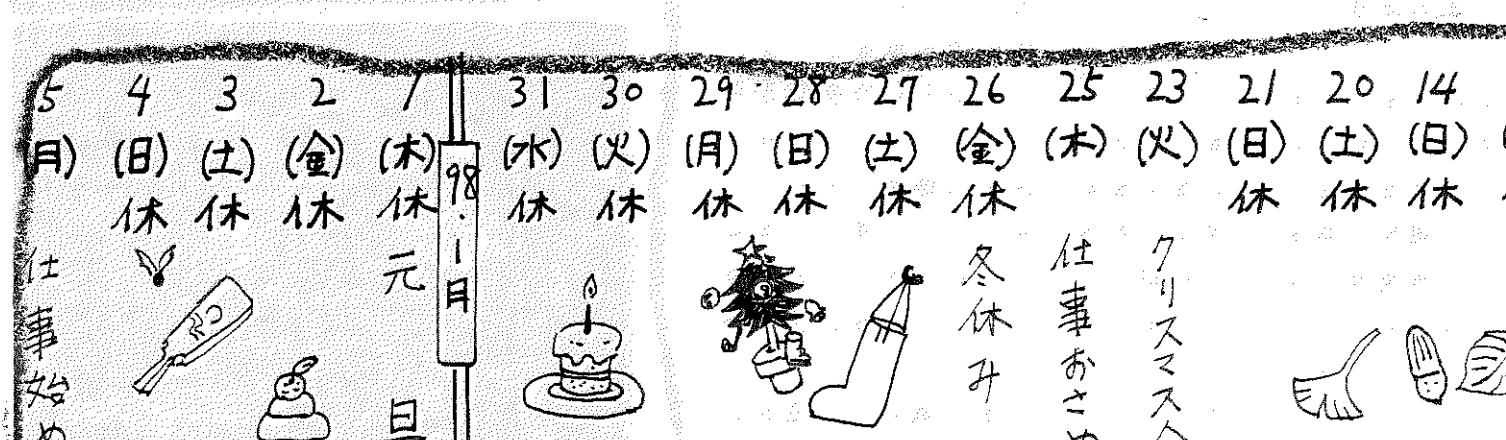
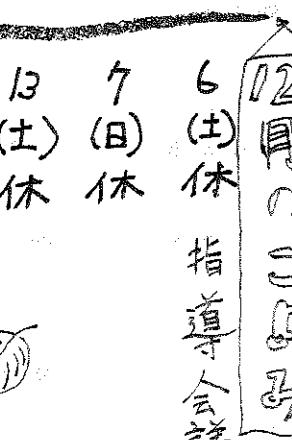
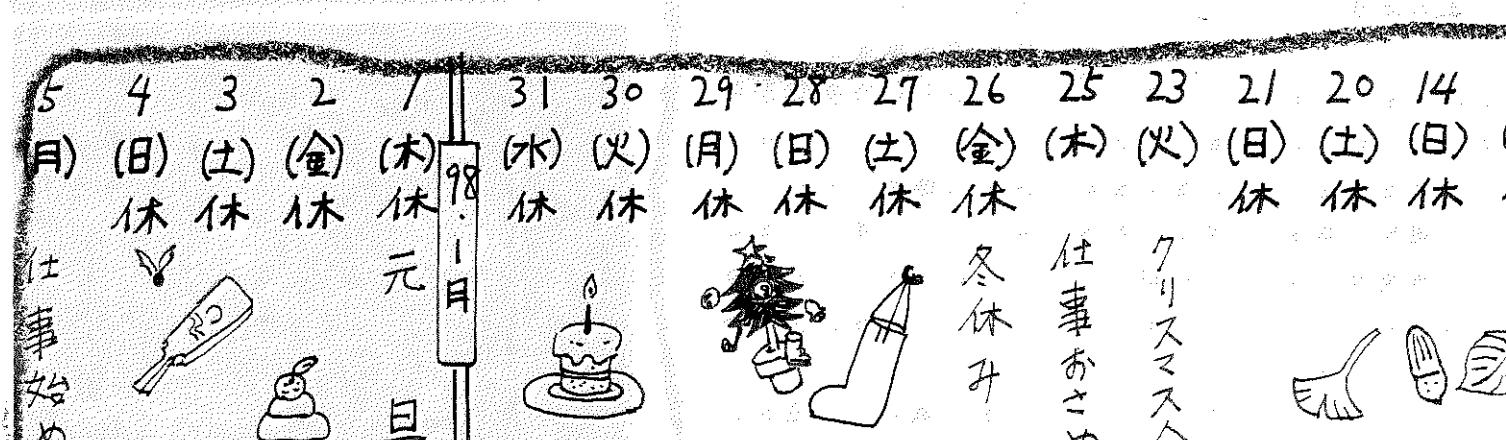
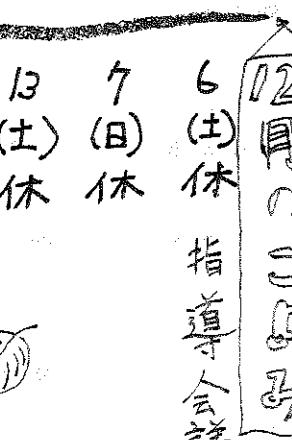
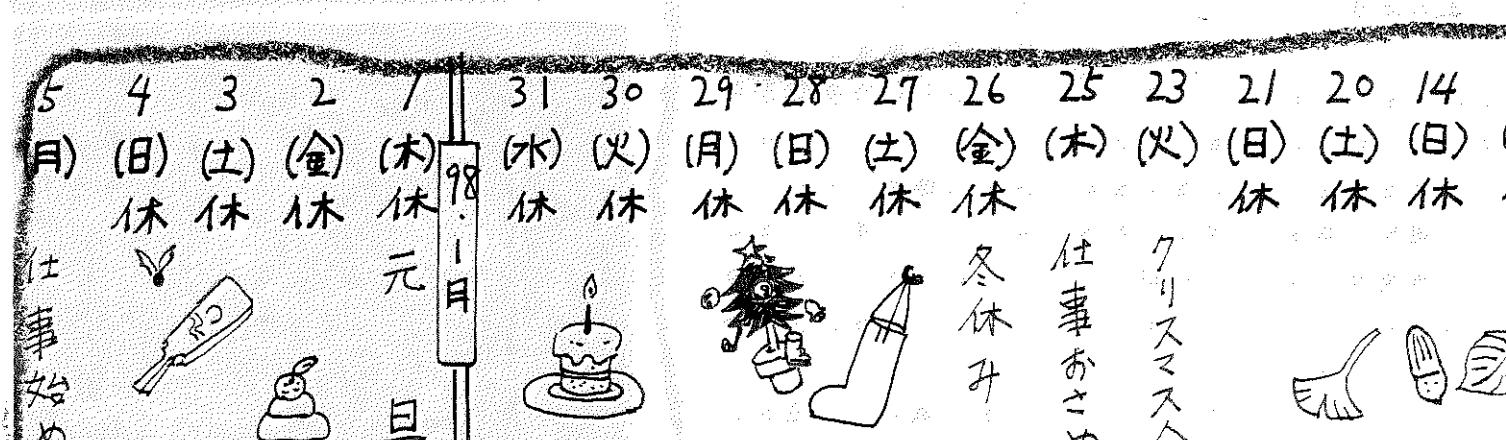
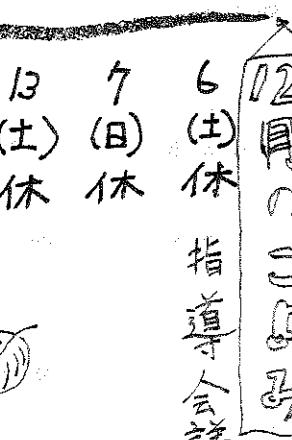
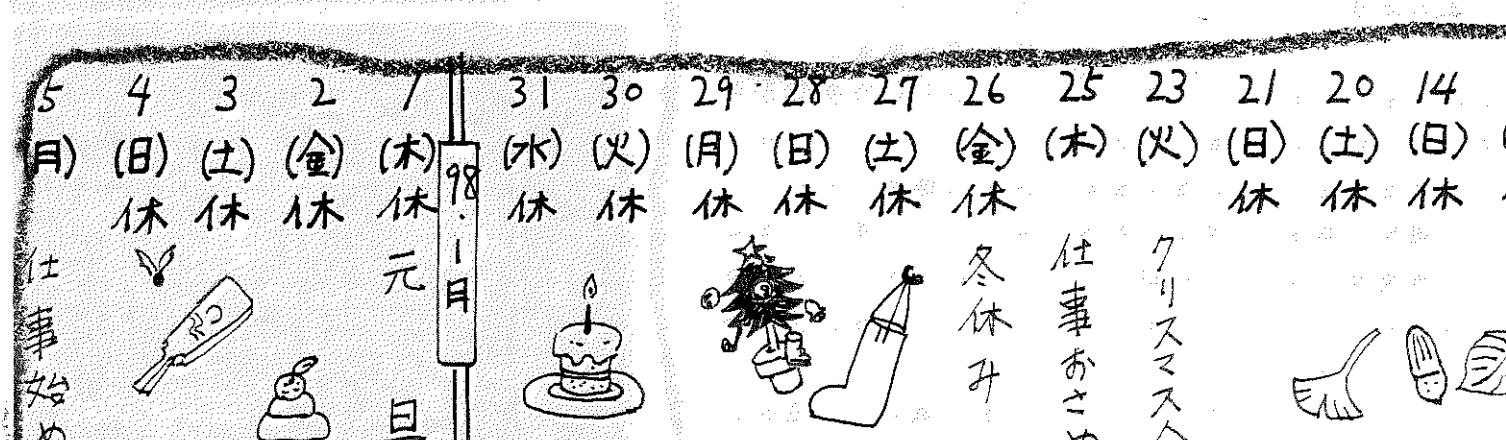
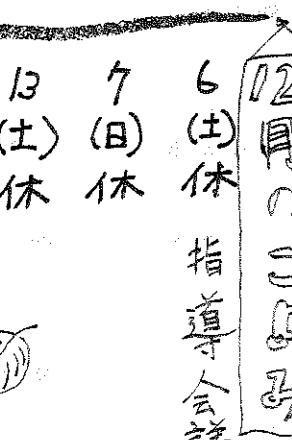
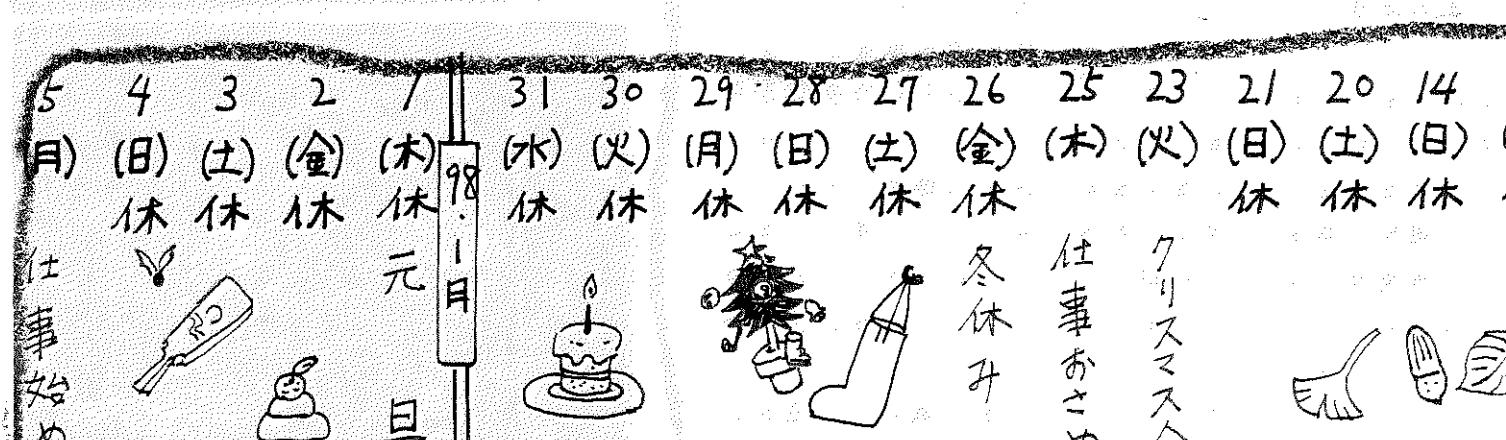
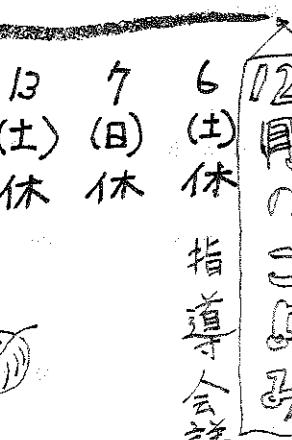
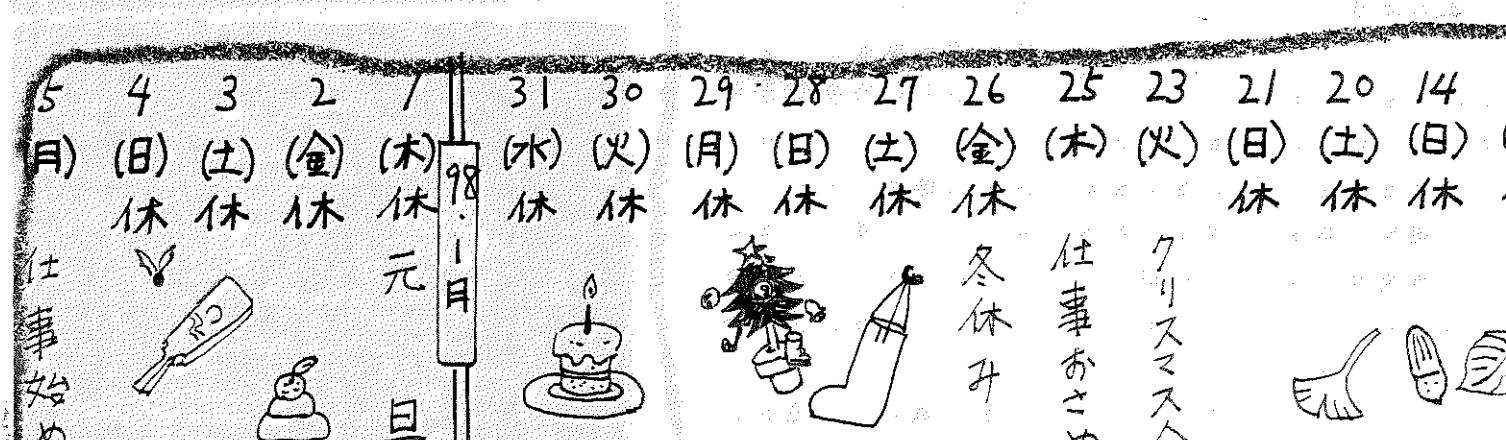
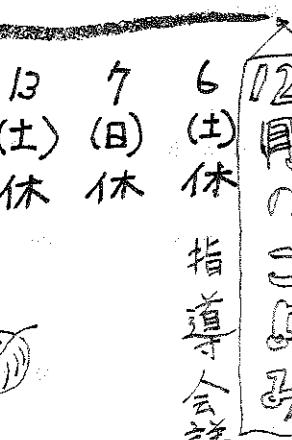
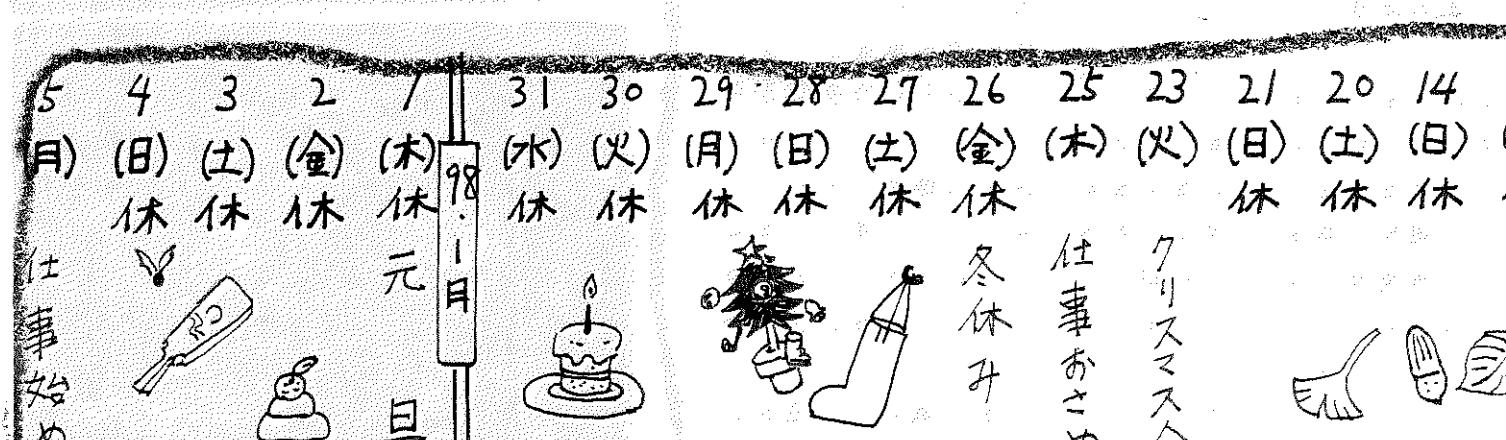
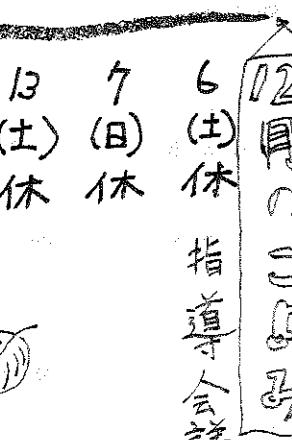
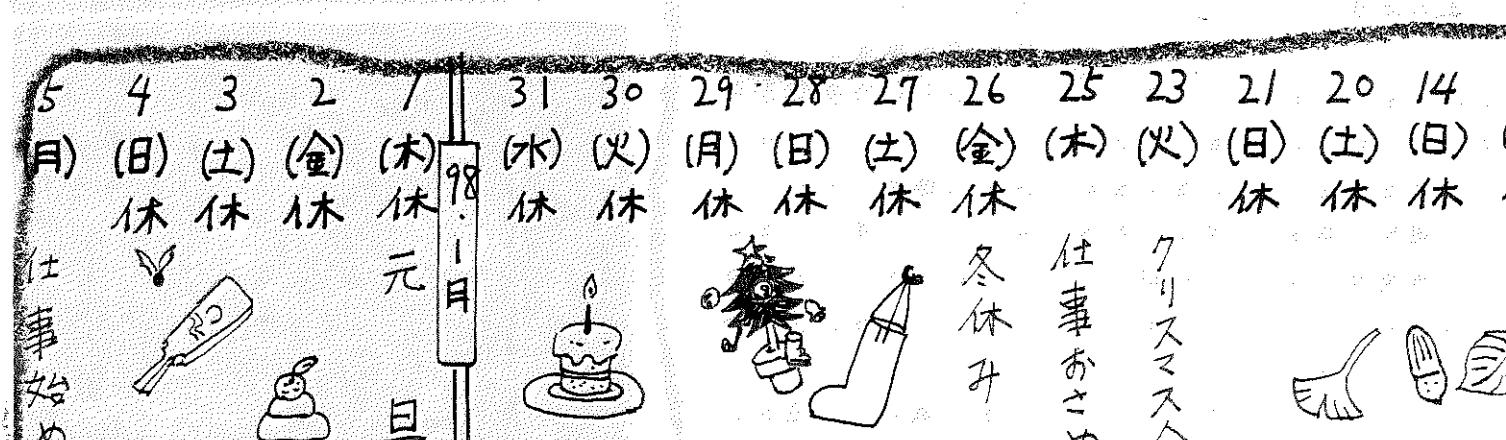
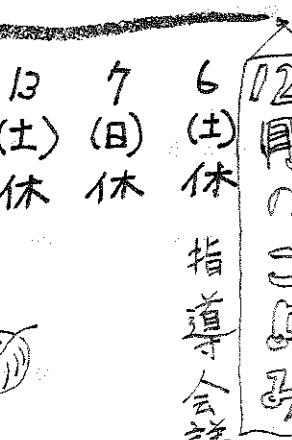
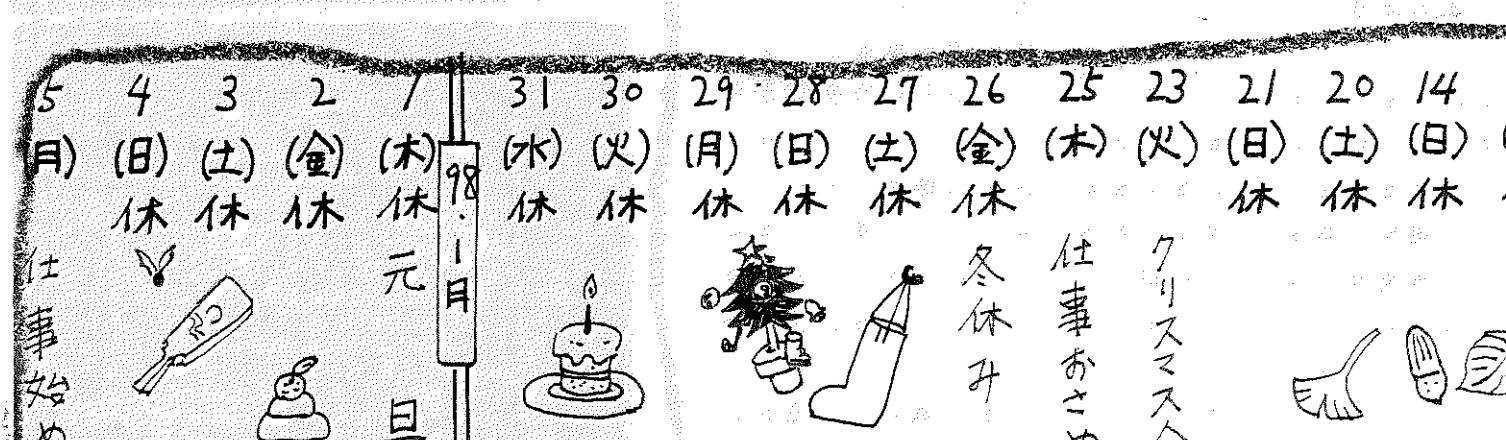
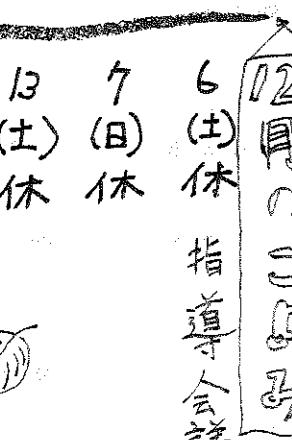
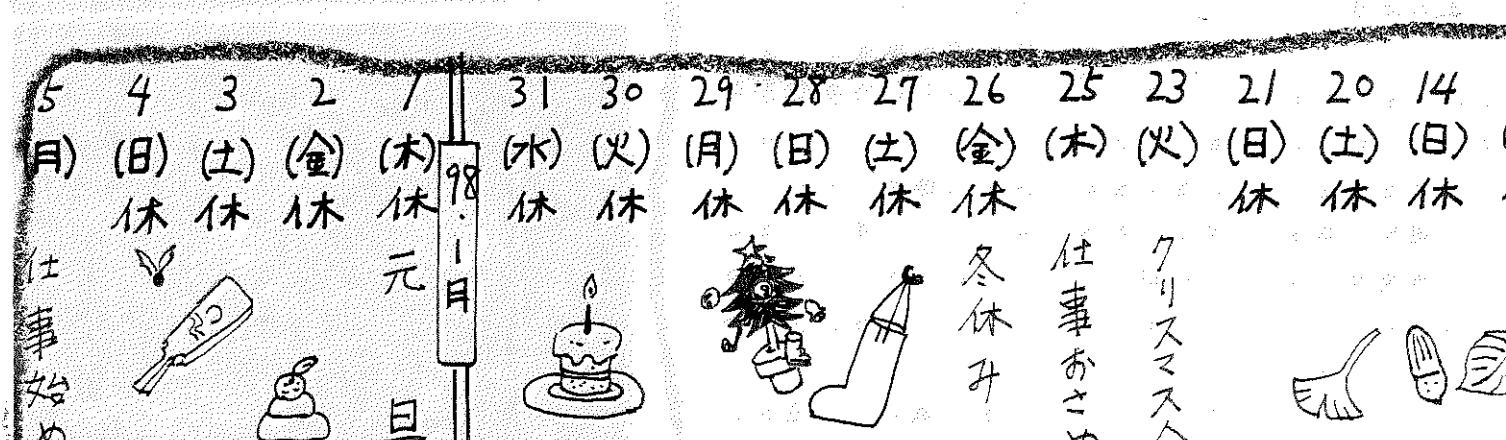
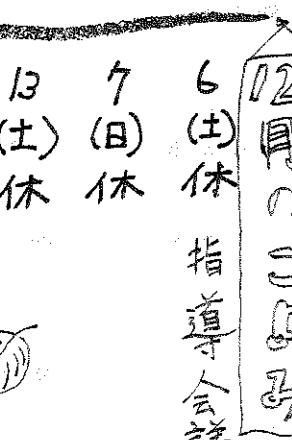
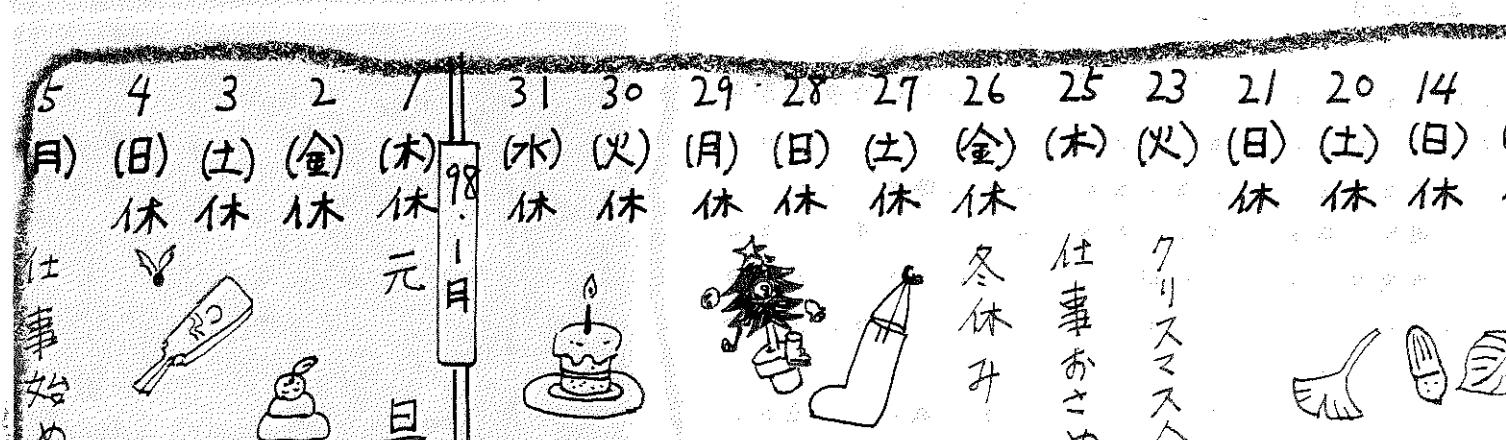
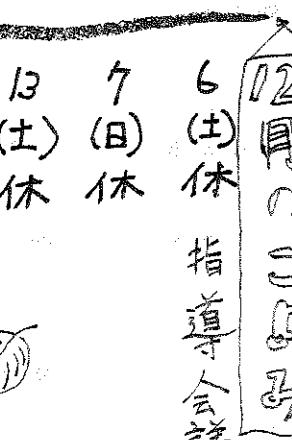
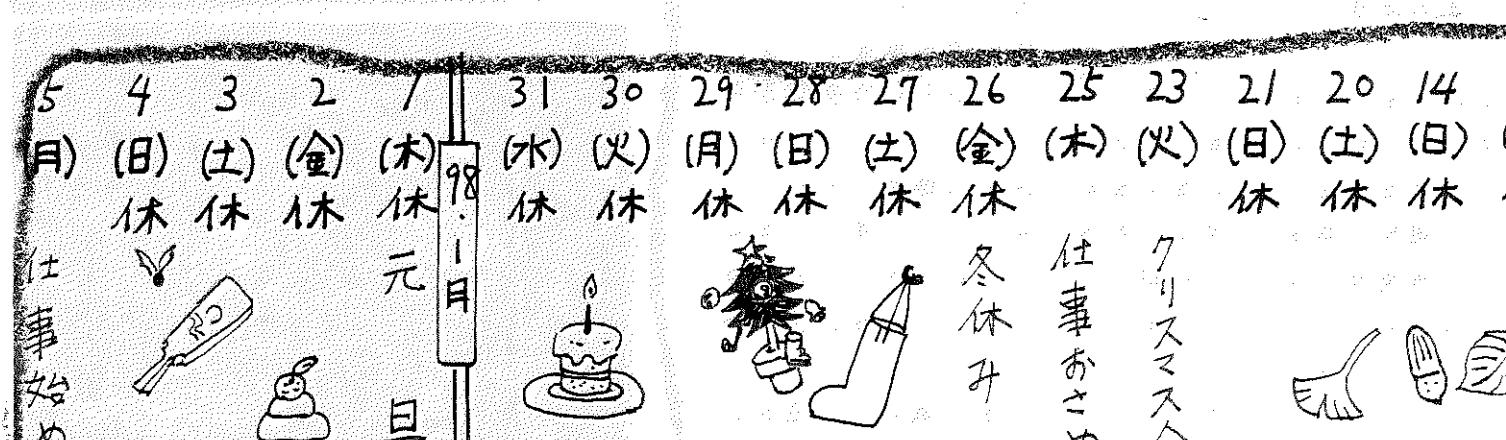
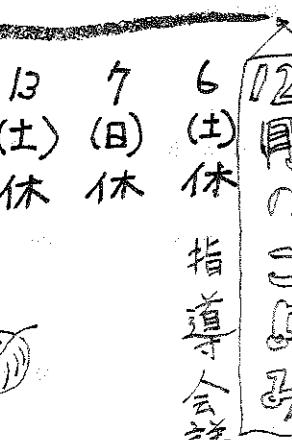
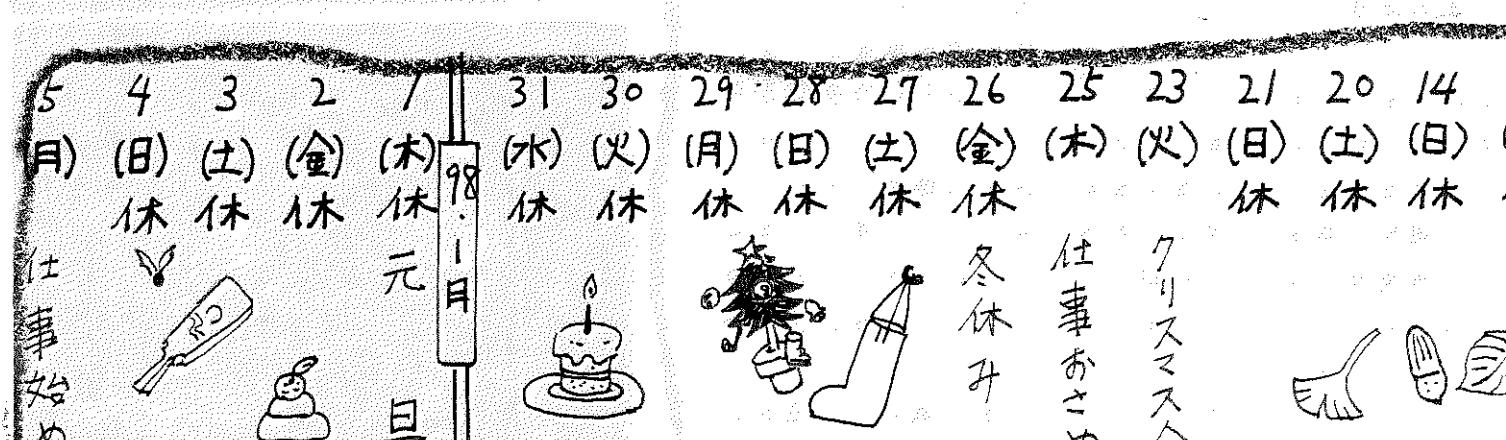
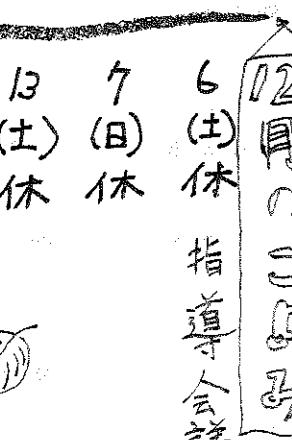
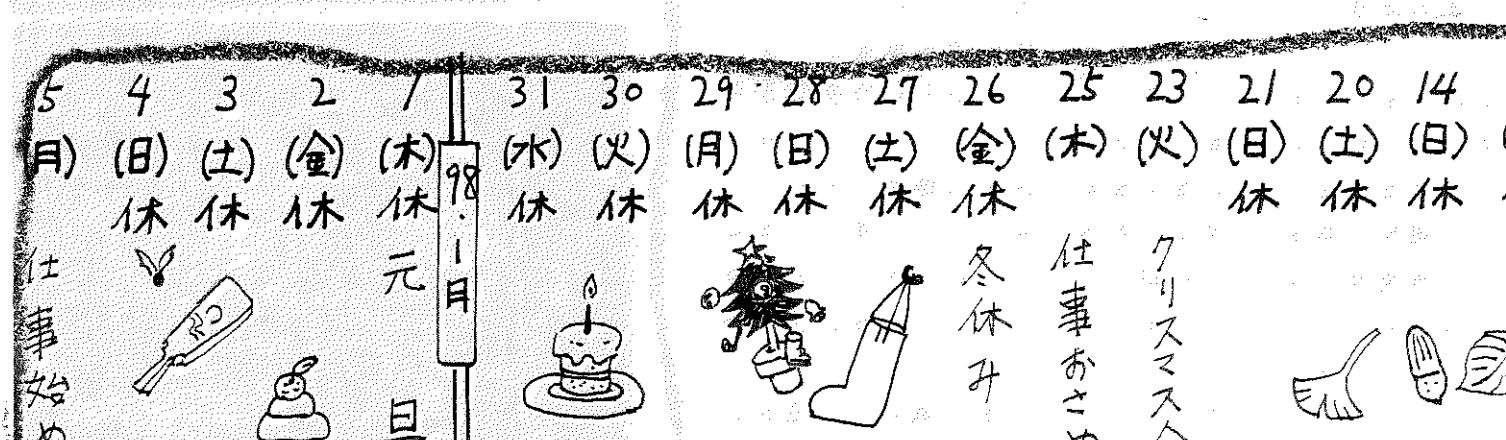
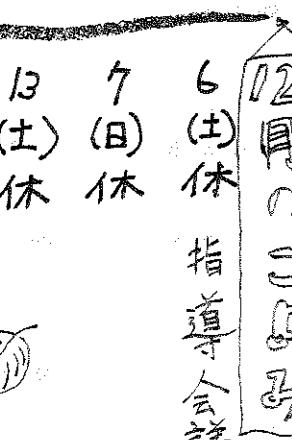
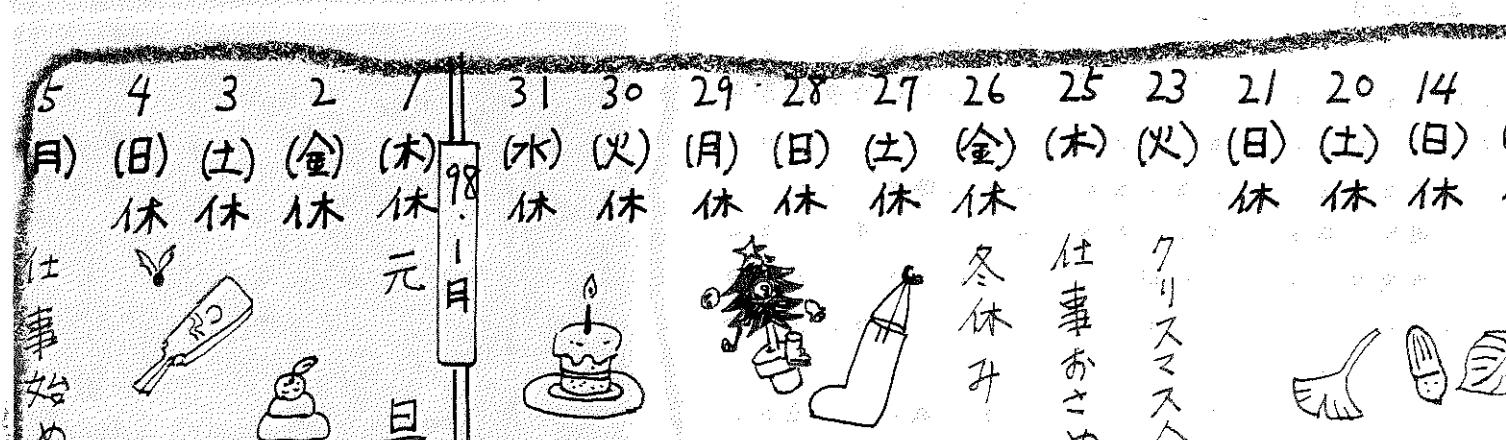
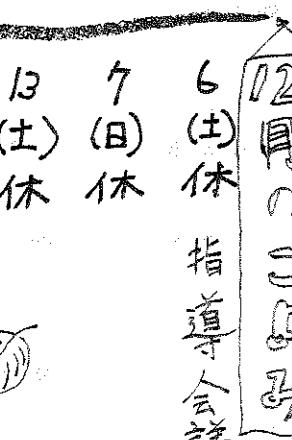
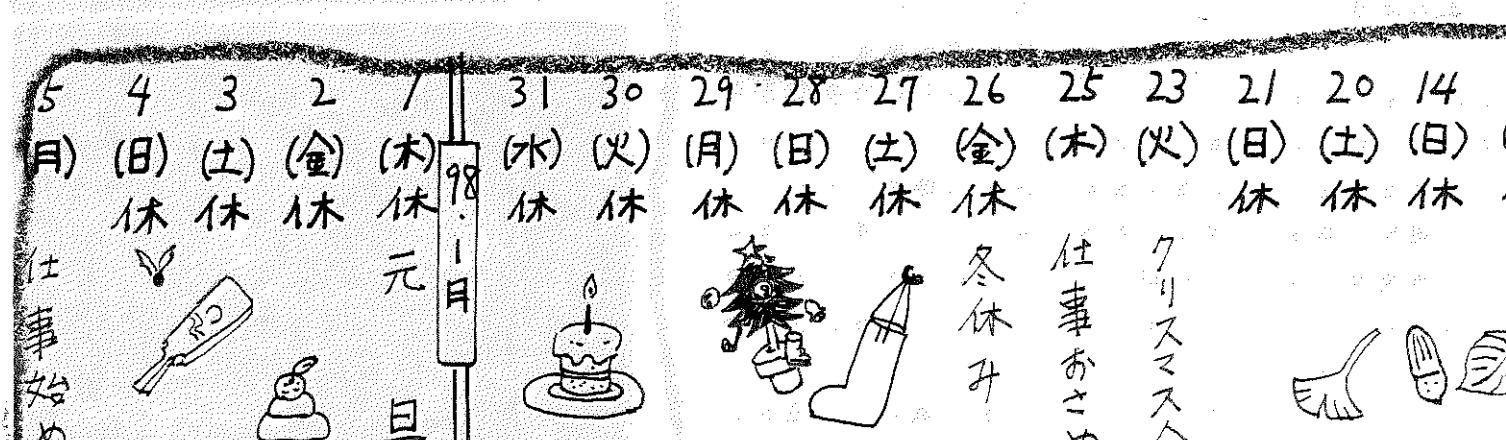
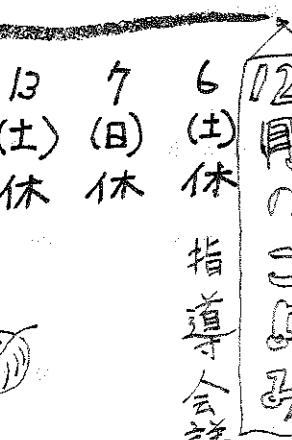
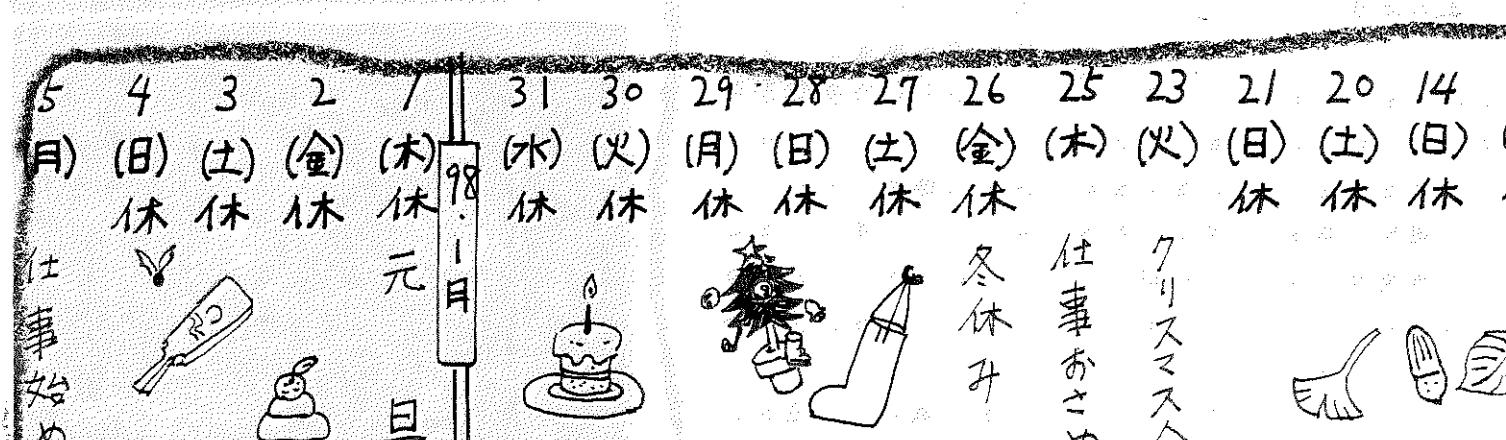
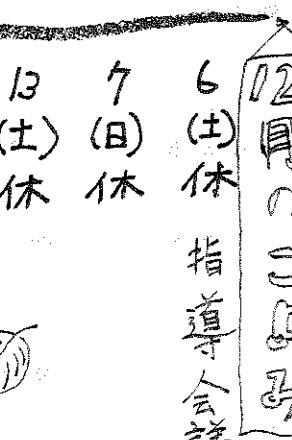
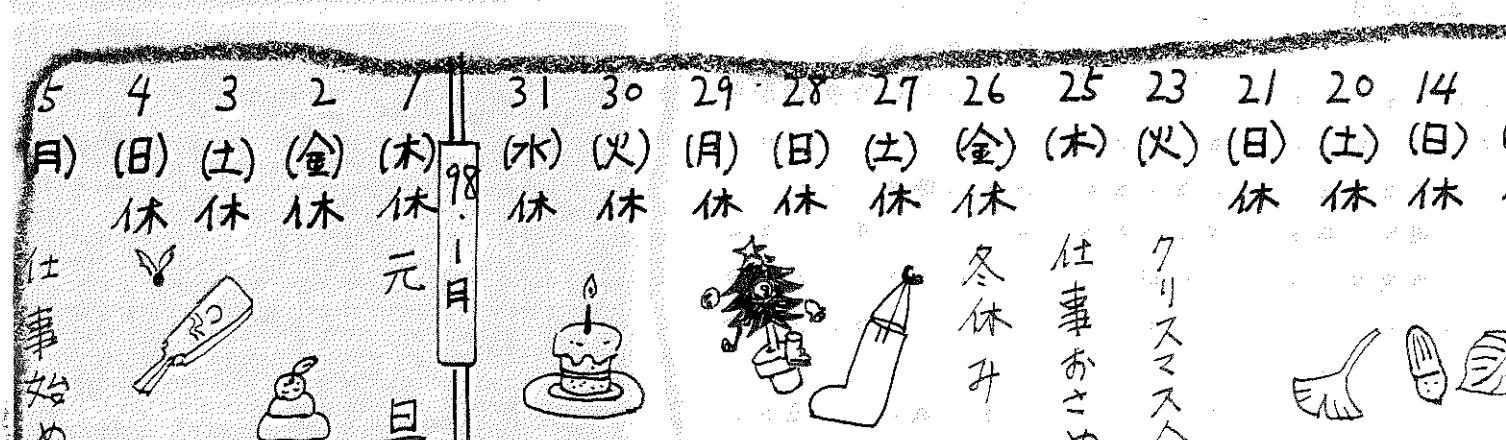
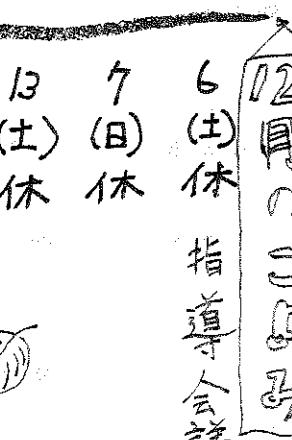
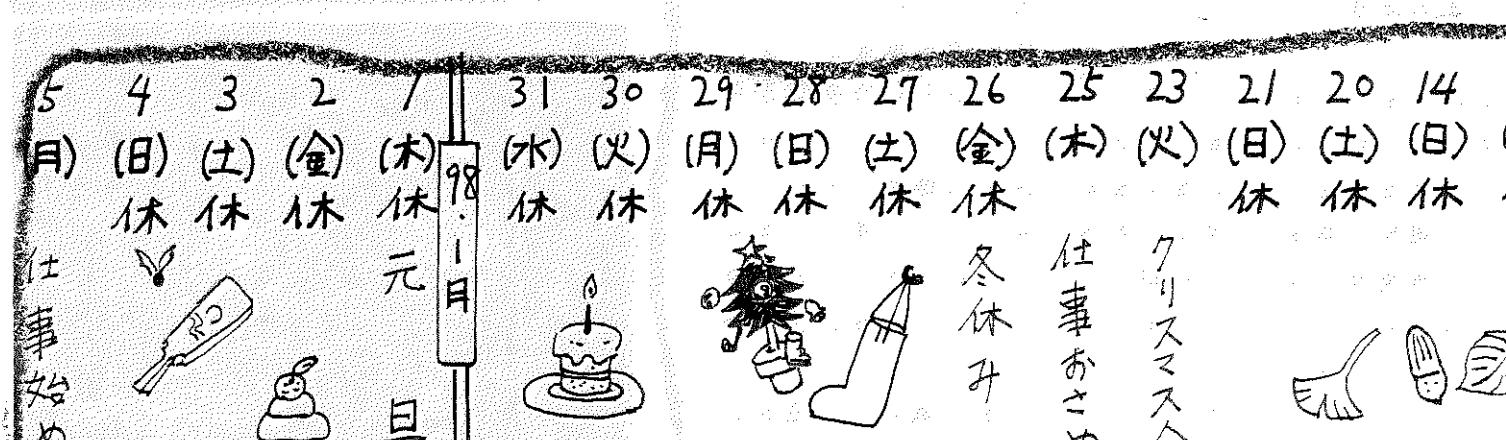
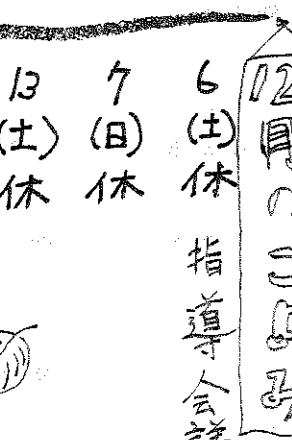
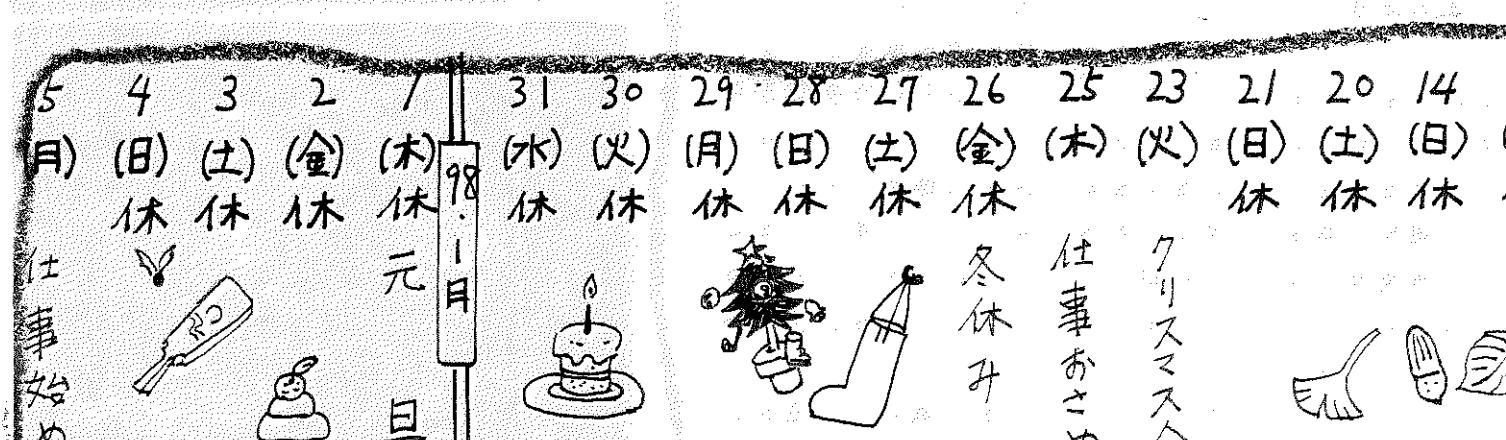
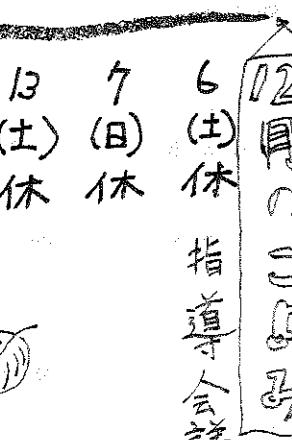
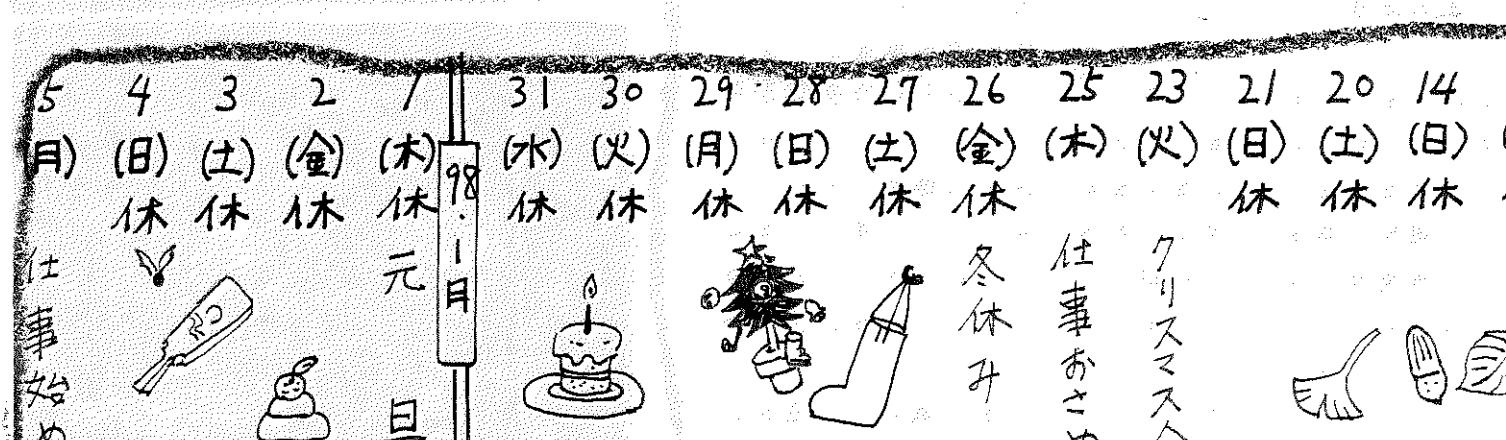
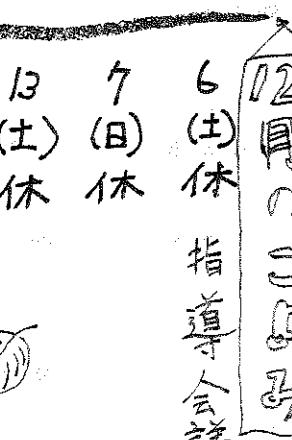
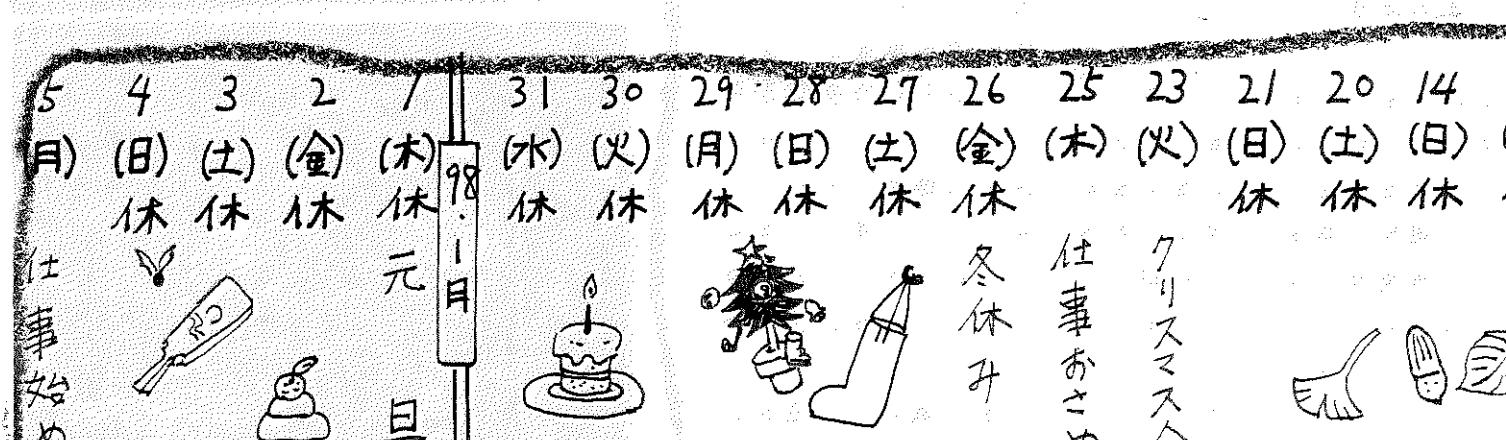
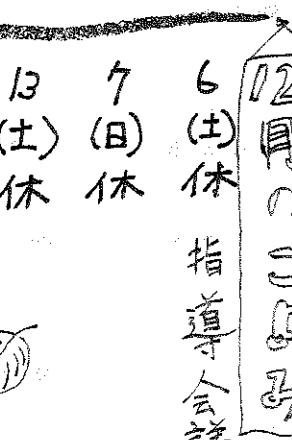
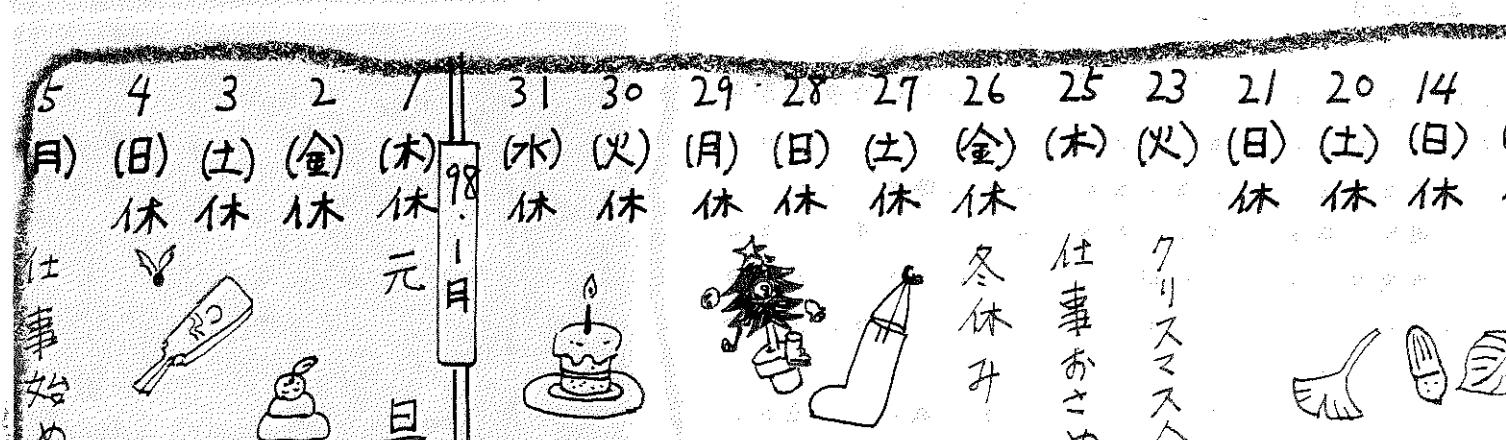
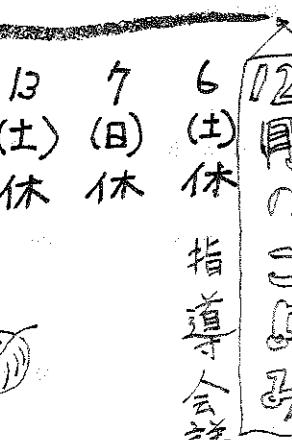
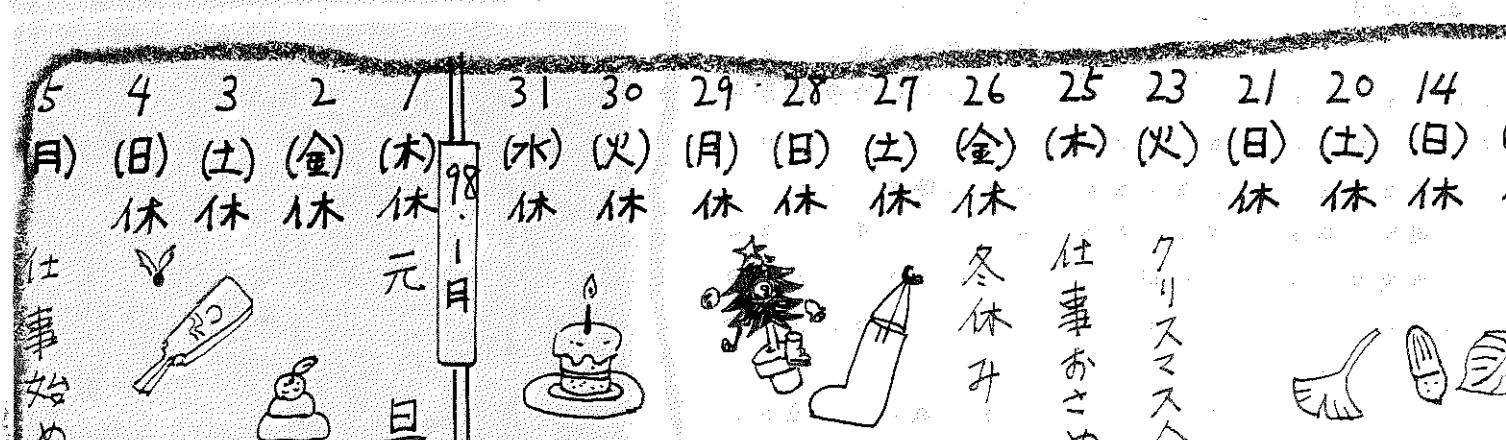
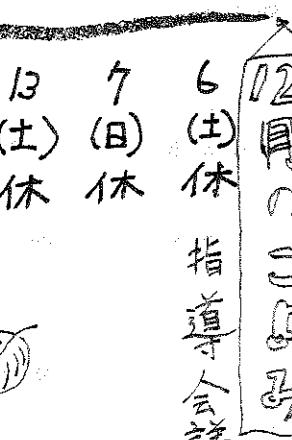
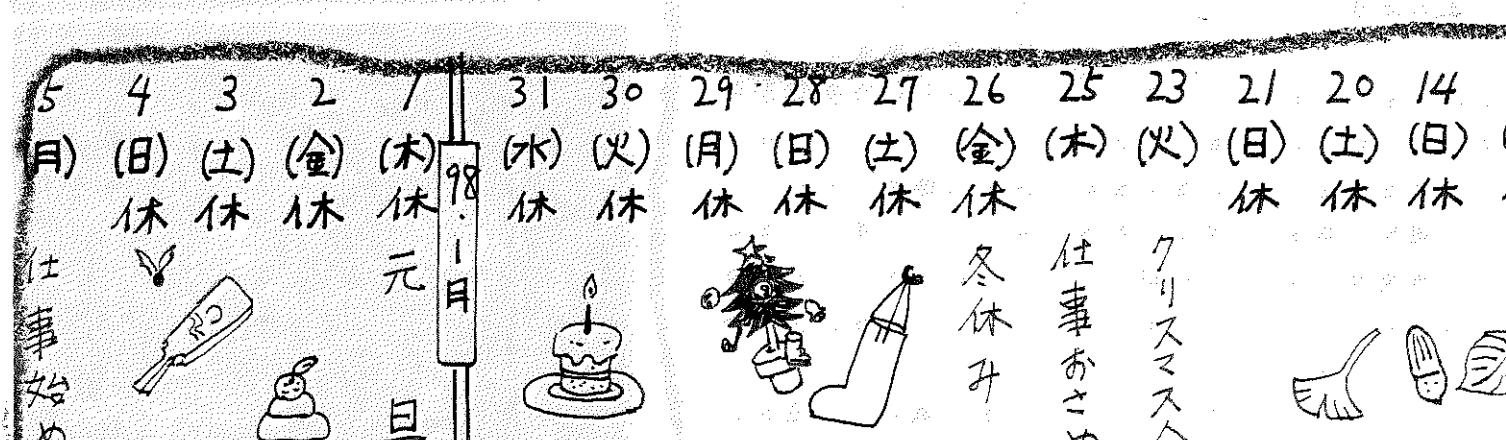
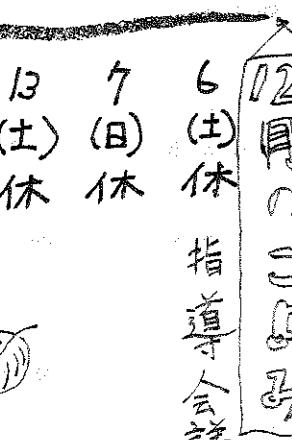
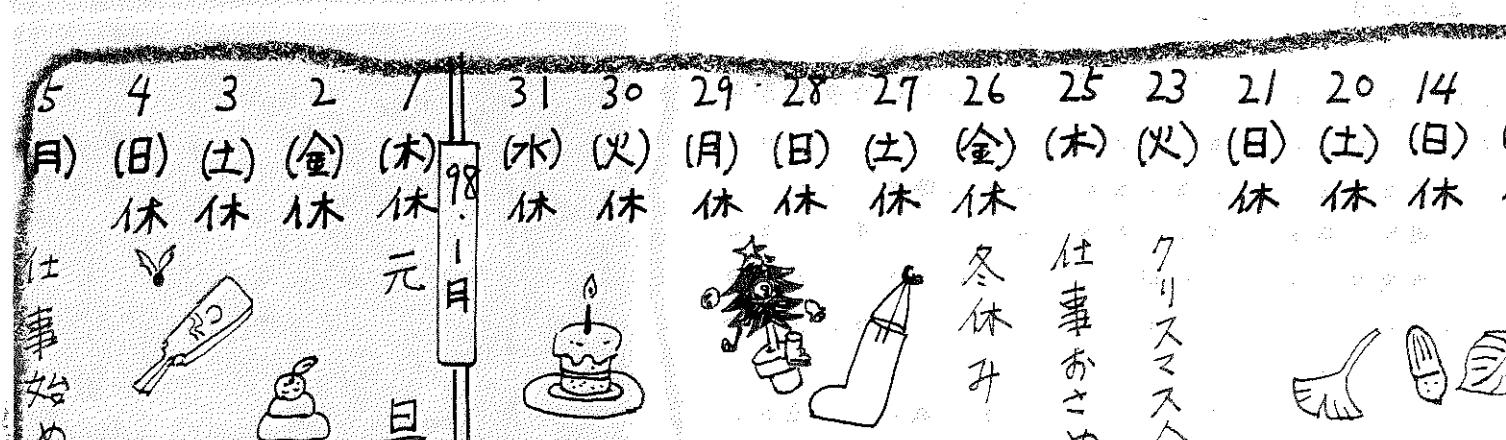
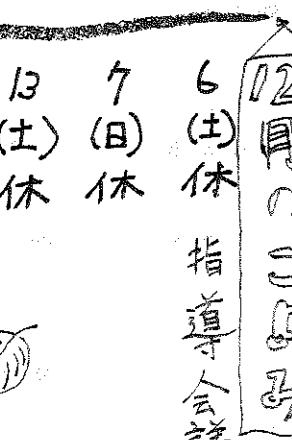
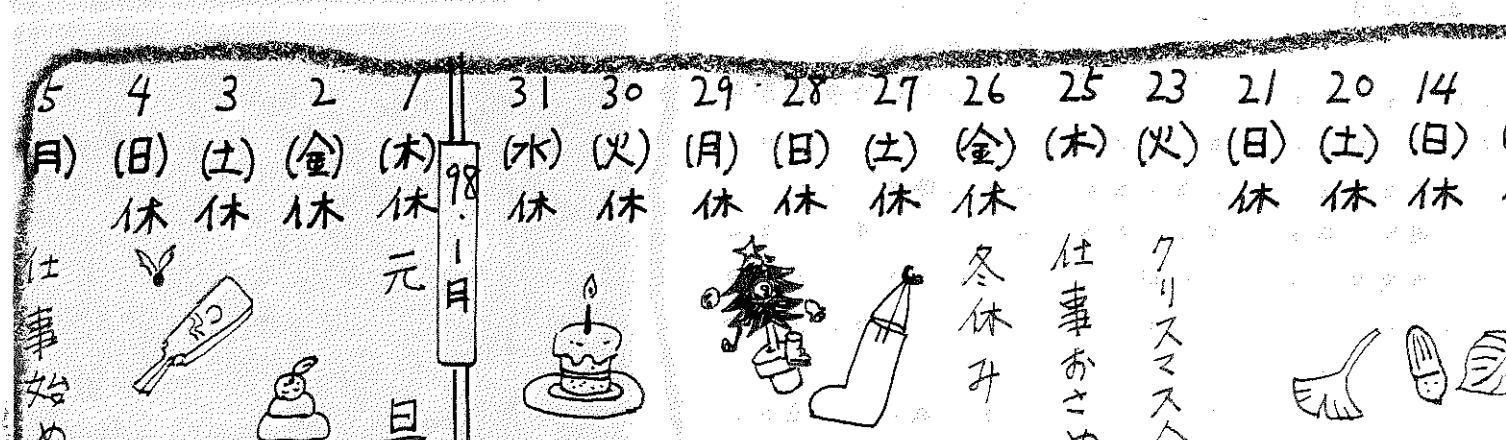
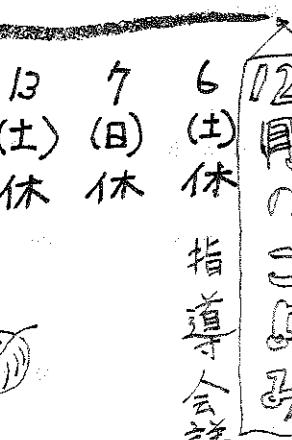
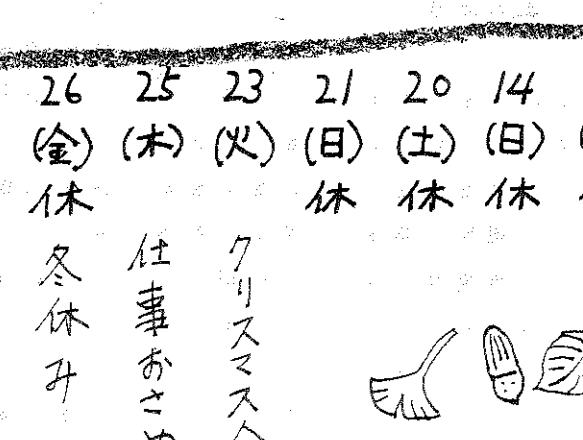
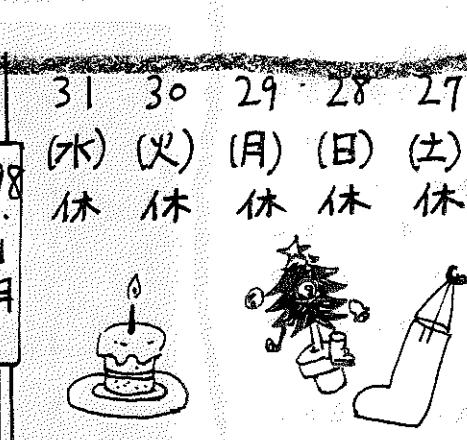
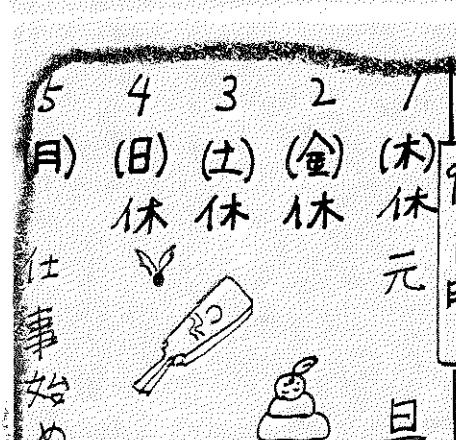
第一次内示が都道府県から
あがつた申請の60%にすぎ
なかつた今回の設備整備をめ
ぐる出来事は、今回の障害者
施策の動向を象徴する大事件
だった。

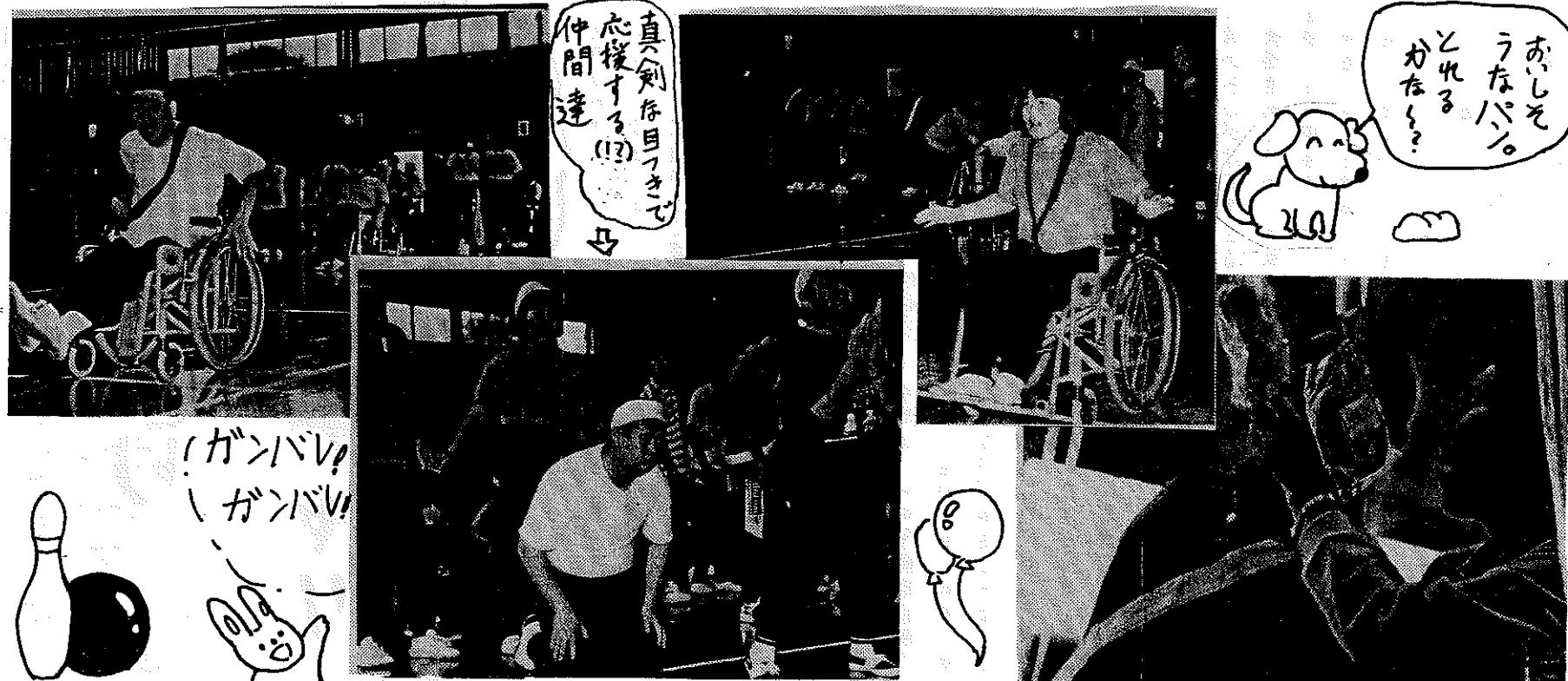
赤字国債の発行を無くする
ために、今後3年間は緊縮財
政をすすめていく。社会保障、
社会福祉も聖域ではないとし
て、「財政再建計画」を発表
した。今回の施設整備費の削
減、グループホーム予算の半
年遅れの執行、小規模作業所
の補助単価切り下げの動きな
ど、ノーマライゼーションブ
ラン逆行する一連の動きは
高度成長のつけを障害者にも
押しつけてくる政府の姿勢を
表したものだった。来年度の
厚生省関係の概算要求も軒並
みマイナス7%となっている。
けやき作業所整備費交付の
条件に「多くの障害者が建設
を待ち待機している。」とい
う理由は取り上げて貰えなか
った。「どの地域でもそうだ。」
というのである。けやきの協
議をすすめる中で、芳賀地域
には240人を超える(療育
手帳所持者のみ)在宅障害者
(医療・教育・福祉機関、一
般就労と関わりがない)の存

度の改正、介護保険制度の導
入により社会保障・福祉予算
の削減は既存の国民的成果を
変えてまで進められている。

消費税率のアップ、医療制度
の改正、介護保険制度の導
入により社会保障・福祉予算
の削減は既存の国民的成果を
変えてまで進められている。

在が確認された。障害者施策
を進めていく動機に障害者の
生活は全く考慮されない時代
に突入したといえる。





主役となるよう、アイディアを駆使し、たくさんの競技を取り組みました。

作業体験障害物競争、自分たちの綱を選んで引く綱引き、逃げ回る職員のしょったカゴに入れる玉入れ、ウォークラリーなどetc...

いずれにしても知的障害者がルールを理解し競技に参加するということはなかなか難しいのですが、工夫によりスポーツを楽しめる貴重な機会であることは確かです。普段見られない家族、とくにお父さん活躍する姿が素敵に映るのも、スポーツ大会の醍醐味でしょう。

さて、今年はといいますと種目は車椅子リレー、ミニボウリング、パン食い競争、風船割り、ゴロバレーの五つ。

また来年、新しいアイディアで楽しい種目を取り入れ、みんなで盛り上がりましょう。

今月の健康

お米の栄養学

秋、とれたてのおいしい米が味わえる季節。さらに秋は旬の山の幸海の幸がいっぱい。

松茸ご飯や栗ご飯、鮭ご飯など、ご飯のバリュエーションが増える季節です。そこで今回は米の栄養を考えてみました。

米は低カロリー、低脂肪食。食物繊維が豊富で、大腸ガンの予防に役立つといわれます。又、胚芽部分には動脈硬化の原因になる過酸化脂質を抑えるビタミンEや、血管壁の若さを保つビタミンB2などが含まれているので、心臓病の予防にも効果的です。米を主食に、バランスのとれた食事をとりましょう。

ダイエットを考える場合にも米を中心の食生活の方が都合がいいのです。それはパンや麺類が小麦を粉にした粉食(ふんしょく)であるのに対し、ご飯は粒のまま食べる粒食(りゅうしょく)であるためです。どちらも主な栄養はデンプンですが、粉食のほうだと、消化・吸収のスピードが速いため、体内で血糖値が一気に上がりインシュリンという物質が大量にできます。このインシュリンが、血糖を脂肪に変える働きをするのですが、粒食のほうでは、消化・吸収に時間がかかるため、そのぶん血糖の上昇もインシュリンの反応も抑制でき、太りにくいのです。でも、だからといって食べ過ぎては意味がありませんから腹八分目をこころがけましょう。



9月21日(日) 第10回

スポーツ大会が、芳賀町第一体育館で行なわれました。

毎年の開催ですので10年目ということになります。

10年の歴史の中で仲間が主役となるよう、アイディアを駆使し、たくさんの競技を取り組みました。

作業体験障害物競争、自分たちの綱を選んで引く綱引き、逃げ回る職員のしょったカゴに入れる玉入れ、ウォーカーなどetc...

いずれにしても知的障害者がルールを理解し競技に参加するということはなかなか難しいのですが、工夫によりスポーツを楽しめる貴重な機会であることは確かです。普段見られない家族、とくにお父さん活躍する姿が素敵に映るのも、スポーツ大会の醍醐味でしょう。

さて、今年はといいますと種目は車椅子リレー、ミニボウリング、パン食い競争、風船割り、ゴロバレーの五つ。

また来年、新しいアイディアで楽しい種目を取り入れ、みんなで盛り上がりましょう。

パン食い競争は仲間の要望が強かったので取り入れました。せっかく仲間が楽しむのですから、企画の段階から仲間の意見を聞き、職員がアレンジして、内容を、点数を競う種目と、そうでないものと、障害の重い仲間も充分参加できるよう工夫しています。

ミニボウリングなどは、保護者よりも仲間の方が上手だったり、逆にこぶし伝統のゴロバレーなどは仲間よりも保護者の方がむちゅうなるようになります。

チームは送迎コースを基本に5チームで競い、家族やお父さんの頑張りが勝敗を左右する結果となり、優勝は上三川コースのチームでした。

ボランティアさんの参加も増え、毎年賑やかに出来ることは、仲間にとって楽しみが倍になるようで、嬉しく思います。

91' 秋たけなわ
木 大会